

# パワーコンディショナ用カラー表示ユニット／計測ユニット メンテナンスツール

## ユーザーズマニュアル

### もくじ

注意事項	2
はじめに	3
動作環境	3
1. セットアップを行う前に	4
2. セットアップ手順	5
2.1. メンテナンスツールのセットアップ手順	5
2.2. 通信ドライバのセットアップ手順	9
3. メンテナンスツールの起動	13
3.1. 表示ユニットと接続する場合	13
3.2. 計測ユニットと接続する場合	18
4. メンテナンスツールの操作(表示ユニット-パソコン)	22
4.1. メンテナンスツールについて	22
4.2. バックアップ	24
4.3. リストア	27
4.4. 設定変更	30
4.5. アップデート	36
4.6. 初期化	40
4.7. バージョン情報	43
5. メンテナンスツールの操作(計測ユニット-パソコン)	44
5.1. メンテナンスツールについて	44
5.2. バックアップ	46
5.3. リストア	49
5.4. 設定変更	52
5.5. アップデート	55
5.6. 初期化	59
5.7. バージョン情報	62
6. メンテナンスツールの終了	63
7. アンインストール	65
8. トラブルシューティング	69

## 注意事項

1. 本ソフトウェアおよび本マニュアルは本製品の使用許諾書に記載の条件の下でお使いください。
2. 本ソフトウェアおよび本マニュアルの一部または全部を無断で使用、複製することはできません。
3. 本ソフトウェアの仕様、および本マニュアルに記載されている内容は、将来予告なしに変更することがあります。
4. 本マニュアルの掲載画像とソフトウェアの画像には若干の相違がある場合があります。ご了承ください。

Microsoft Windows、Internet Explorer、Windows Vista、Windows 7、Windows 8、Windows 8.1 は Microsoft Corp. の登録商標です。  
Adobe、Adobe ロゴ、Reader は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。なお、本マニュアルの本文中では、(R)、TM マークなどは明記していません。

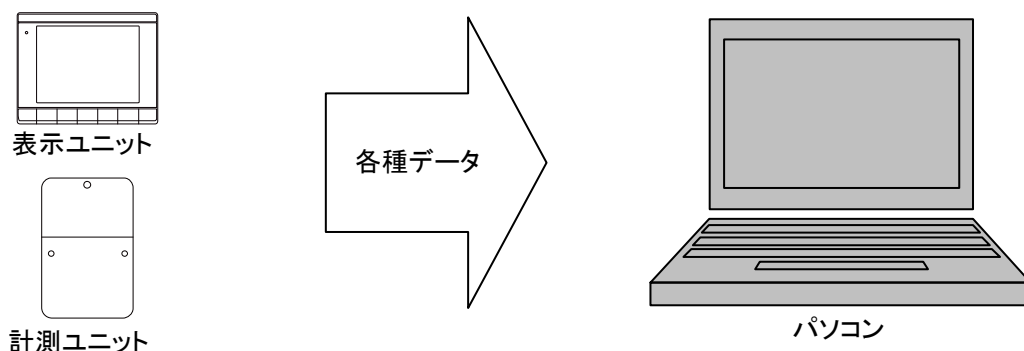
© Copyright 2013-2014 HANWHA Q CELLS Japan Co., Ltd., All Rights Reserved.

## はじめに

このたびは、パワーコンディショナ用カラー表示ユニット(以下表示ユニット)をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。

本マニュアルは、表示ユニット、計測ユニット用メンテナンスツールの使用方法を説明しています。

このメンテナンスツールは、表示ユニットや計測ユニットとお手持ちのパソコンを使用して、ユニットに保存されているデータの読み出し、新たなユニットへのデータの移植、ソフトのバージョンアップ、設定変更、初期化をするアプリケーションソフトです。ご使用前に本書を必ずお読みください。



## 動作環境

メンテナンスツールは、以下の環境で動作します。

### 【パソコン】

パソコン本体に USB ポートを装備した PC/AT 互換機

### 【OS】

Windows Vista(SP2) / Windows 7(32bit/64bit) / Windows 8(32bit/64bit) / Windows 8.1(32bit/64bit)の

各 OS[日本語版]

(OS をアップグレードしてご使用になる場合は、上記の OS に該当しても動作保証外となりますのでご了承ください。)

### 【CPU】

600MHz 以上

### 【メモリ】

上記 OS が動作する環境

### 【必要なハードディスクの空き容量】

40MB 以上(.NET Framework3.5 の容量を除く。)

(.NET Framework3.5 に必要なハードディスク容量は Microsoft のホームページを参照してください。)

### 【ディスプレイ】

解像度 1024 × 768 ピクセル以上

### 【インターフェース】

USB × 1 ポート(プロトコル:USB COM インターフェース)(USB 1.1 以上)

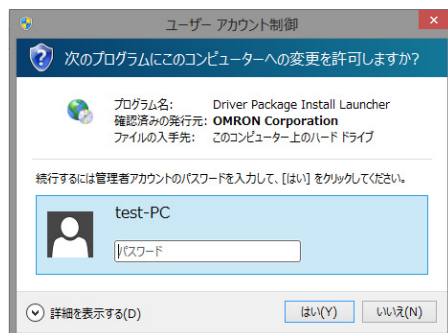
### 【文字フォント】

各 OS に標準搭載のフォントを使用(主に MS Pゴシック/MS UI Gothic)

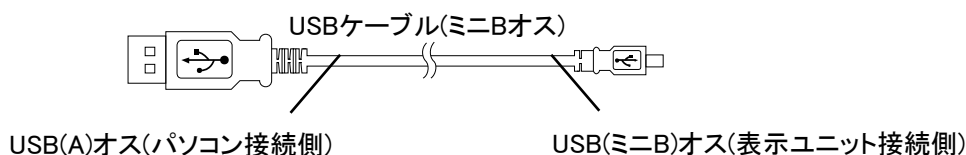
# 1. セットアップを行う前に

メンテナンスツールのセットアップを行う前に以下の準備を行ってください。

- ・動作環境(3 ページ)をよくお読みになり確認してください。
- ・インストールは管理者権限のあるユーザーアカウントにて行ってください。  
標準アカウントユーザーでインストールすることはできませんが、管理者権限のあるユーザーのパスワード入力が必要になる場合があります。  
(画面は Windows 8.1 の画面を使用しています。)

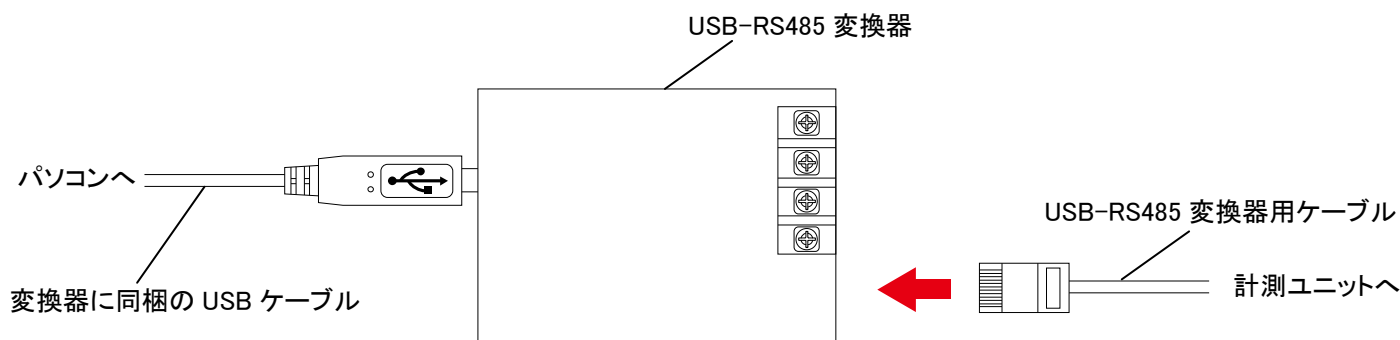


- ・実行中のアプリケーションソフトがありましたら、終了してください。  
(実行中のアプリケーションソフトとは、ウィルスチェックソフト、スクリーンセーバーも含みます。)
- ・パソコンと表示ユニットを接続するために USB ケーブル(ミニ B オス)を準備してください。



- ・パソコンと計測ユニット間は RS485 通信を行うため、次の物を準備してください。

- 1.USB-RS485 変換器 型式:USB-485IRJ45-T4P メーカー:システムサコム  
:SI-35 USB メーカー:ラインアイ
- 2.USB-RS485 変換器用ケーブル 型式:KP-CM2-CO-485 メーカー:オムロン



※USB-RS485 変換器用ケーブルに方向はありません。  
どちらを変換器に接続しても使用することができます。

- ・セットアップには、以下のファイルを使用します。

Setup.exe	: メンテナンスツール用インストーラ
DpInstPkg.exe	: 通信ドライバ用インストーラパッケージ
メンテナンスツール取扱説明書.pdf	: ユーザーズマニュアル(本マニュアル)

## 2. セットアップ手順

この章ではメンテナンスツールおよび通信ドライバをパソコンにインストールする手順を説明します。

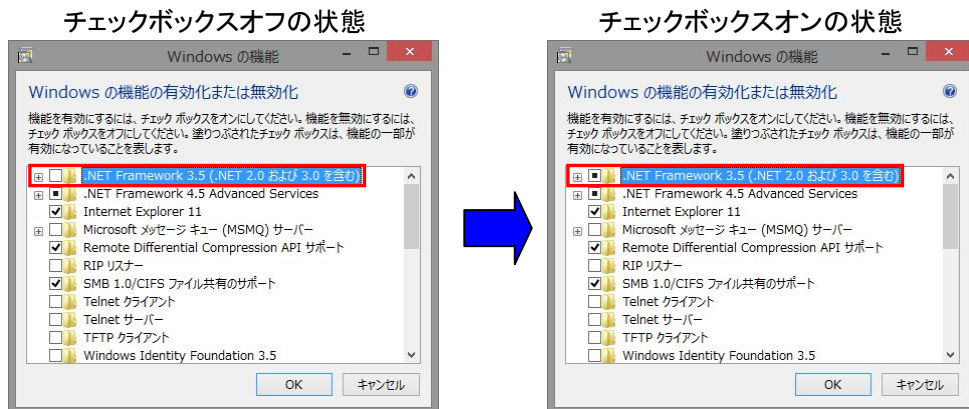
### 2.1. メンテナンスツールのセットアップ手順

本ソフトウェアセットアップ時は、インターネットに接続している環境にて実行してください。

※「.NET Framework 3.5」がインストールされていないパソコンで、本ソフトウェアのセットアップを行った場合、自動的に Microsoft の Web サイトから「.NET Framework 3.5」のインストールを行います。  
ただし、Windows 7 以降の OS では、「.NET Framework 3.5」は標準インストールされています。

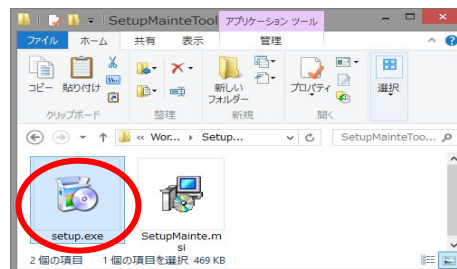
[Windows 7 / Windows 8 / Windows 8.1 の場合]

『コントロールパネル』→『プログラムと機能』→『Windows の機能の有効化または無効化』を選択し、  
『.NET Framework 3.5 (.NET 2.0 および 3.0 を含む)』(Windows 7 では『Microsoft .NET Framework 3.5.1』)  
チェック ボックスをオンにしてください。



[全 OS 共通手順]

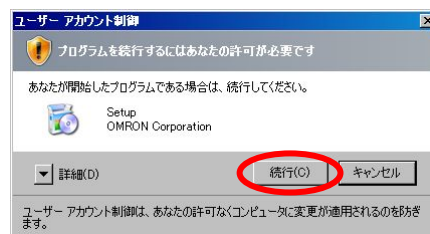
- ①管理者権限のあるユーザー名でパソコンを起動してください。
- ②『SetupMainteTool.zip』の圧縮ファイルを解凍し、『SetupMainteTool』フォルダ内の『Setup.exe』をダブルクリックしてください。  
(画面は Windows 8.1 の画面を使用しています。)



セットアップ中にユーザーアカウント制御の確認ダイアログが表示される場合があります。  
パソコンの OS ごとに次の対処を行ってください。

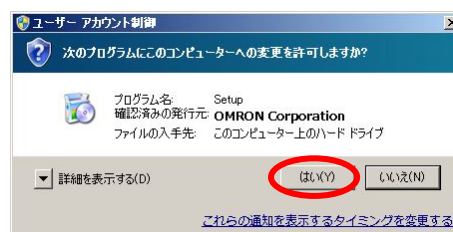
[Windows Vista の場合]

『続行』をクリックしてください。



[Windows 7 の場合]

『はい』をクリックしてください。



[Windows 8 / Windows 8.1 の場合]

『はい』をクリックしてください。



③「.NET Framework 3.5」がインストールされていない場合は、次の画面が表示されます。

- ・使用許諾契約書に同意の上、『同意する』をクリックしてください。インストールが開始されます。
- ・この画面が表示されない場合は、このまま⑤へお進みください。

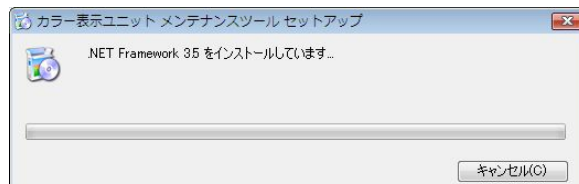
(画面は Windows Vista の画面を使用しています。)



④次の画面が表示され、「.NET Framework 3.5」のインストールが完了するまでしばらくおまちください。

インストールが完了したら、⑤へお進みください。

(画面は Windows Vista の画面を使用しています。)

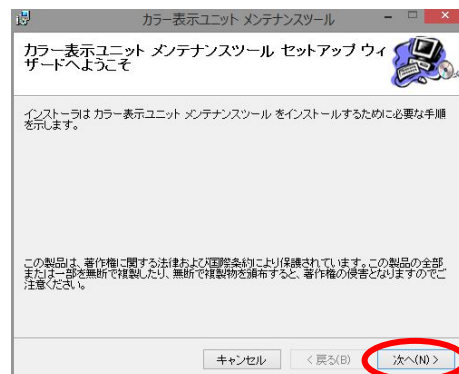


⑤セットアップ開始画面が開きますので、『次へ』をクリックしてください。

セットアップを中断する場合は『キャンセル』をクリックしてください。

セットアップを中断した場合は「セットアップを中断した時の操作」(8 ページ)を参照してください。

以降の操作でキャンセルをクリックした場合も同様に操作を行ってください。



⑥インストールフォルダの選択画面が表示されます。

このフォルダにインストールする場合は、『次へ』をクリックしてください。

インストール先を変更する場合は『参照』をクリックして、インストールするフォルダを選択してください。

セットアップを中断する場合は『キャンセル』をクリックしてください。

⑤へ戻る場合は『戻る』をクリックしてください。

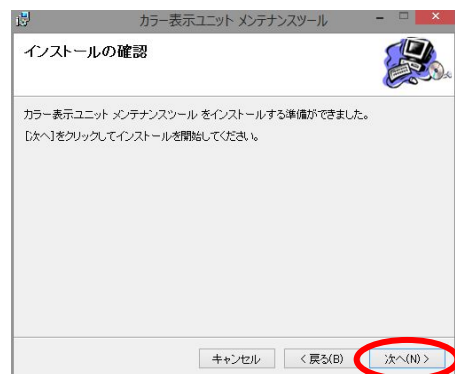


⑦インストールの確認画面が表示されます。

インストールする準備ができたので、開始する場合は『次へ』をクリックしてください。

セットアップを中断する場合は『キャンセル』をクリックしてください。

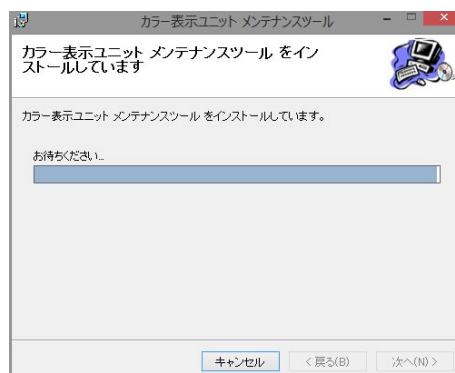
⑥へ戻る場合は『戻る』をクリックしてください。



⑧メンテナンスツールをインストールしています。しばらくお待ちください。

メンテナンスツールのセットアップを続ける場合は、『次へ』をクリックしてください。

セットアップを中断する場合は『キャンセル』をクリックしてください。



⑨インストールが完了しました。『閉じる』をクリックしてください。



Windows のデスクトップ上に『カラー表示ユニット メンテナンスツール』アイコンが作成されます。



デフォルトのインストール先フォルダは、

「システムドライブ¥Program Files¥HANWHA Q CELLS¥KP-CM2¥」となります。

※お使いの OS 環境によっては、

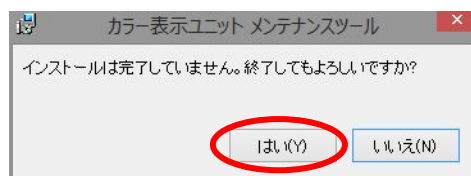
「システムドライブ¥Program Files (x86)¥HANWHA Q CELLS¥KP-CM2¥」フォルダにインストールされることがあります。

## ■セットアップを中断した時の操作

セットアップ操作中に『キャンセル』をクリックした場合に次の操作を行ってください。

①セットアップを中断する場合は『はい』をクリックしてください。

セットアップを継続する場合は『いいえ』をクリックしてください。



②『はい』をクリックしてセットアップを中断した場合

次の画面が表示されるので『閉じる』をクリックし、セットアップ操作を終了してください。



③『いいえ』をクリックしてセットアップを引き続き行う場合

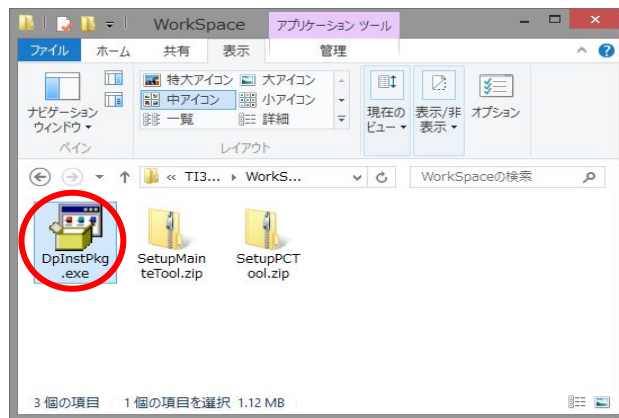
前画面に戻りますので、本マニュアルに従い、セットアップを実行してください。



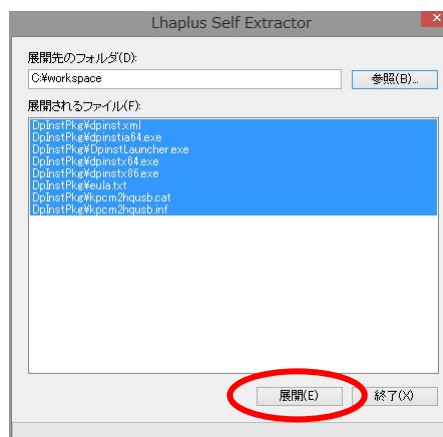
## 2.2. 通信ドライバのセットアップ手順

表示ユニットから USB ケーブルが抜かれている状態で行ってください。  
(画面は Windows 8.1 の画面を使用しています。)

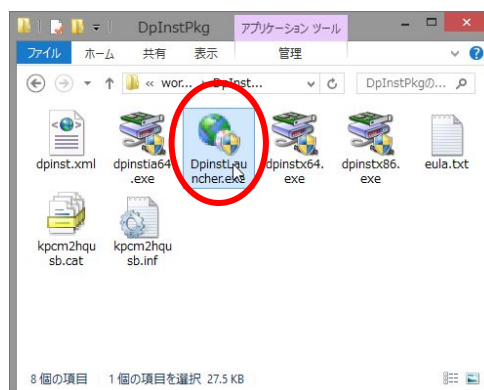
- ①『DpInstPkg.exe』をダブルクリックしてください。



- ②次の画面が表示されたら、展開ボタンをクリックしてください。  
デフォルトの展開先は『DpInstPkg.exe』と同一フォルダになります。



- ③展開先フォルダ内の『DpinstLauncher.exe』ファイルをダブルクリックしてください。



ユーザーアカウント制御の確認ダイアログが表示されます。  
パソコンの OS ごとに次の対処を行ってください。

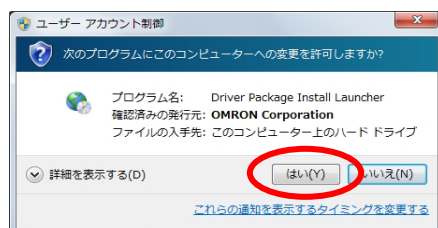
[Windows Vista の場合]

『続行』をクリックしてください。



[Windows 7 の場合]

『はい』をクリックしてください。



[Windows 8 / Windows 8.1 の場合]

『はい』をクリックしてください。

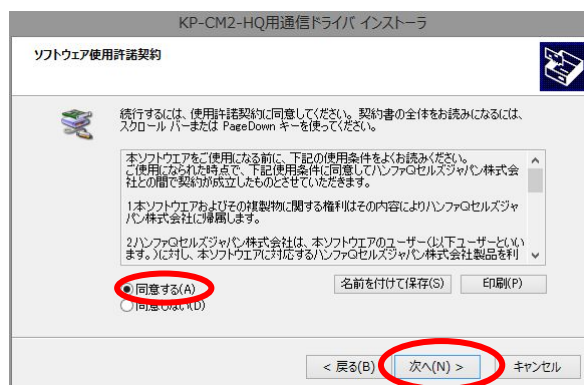


④ 次の画面が表示されたら、『次へ』をクリックしてください。

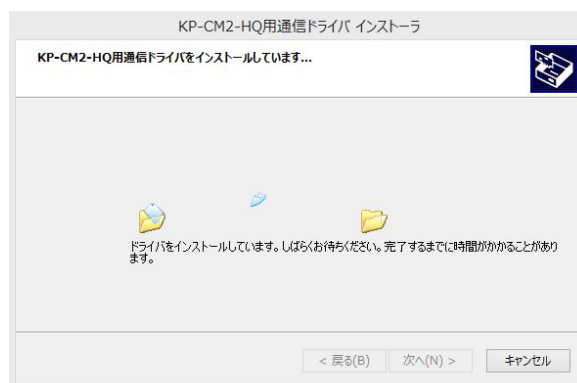
セットアップを中断する場合は『キャンセル』をクリックしてください。



- ⑤ 次の画面が表示されたら、使用許諾契約をお読みいただき、『同意する』にチェックを入れて、『次へ』をクリックしてください。セットアップを中断する場合は『キャンセル』をクリックしてください。  
(セットアップを中断したときの操作. ケース 1 へ)



- ⑥ ドライバをインストールしています。しばらくお待ちください。  
セットアップを中断する場合は『キャンセル』をクリックしてください。  
(セットアップを中断したときの操作. ケース 2 へ)



- ⑦ ドライバをインストール中に以下のダイアログが表示されましたら、『インストール』をクリックしてください。セットアップを中断する場合は『インストールしない』をクリックしてください。  
(セットアップを中断したときの操作. ケース 3 へ)



- ⑧ ドライバのインストールが完了しました。『完了』をクリックしてください。  
『キャンセル』をクリックしても、インストールは完了します。

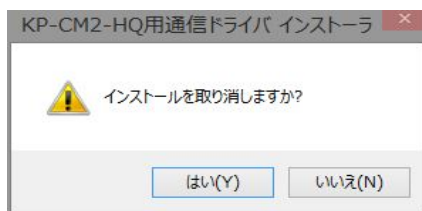


## ■セットアップを中断した時の操作

セットアップ操作中に『キャンセル』をクリックした場合に次の操作を行ってください。

ケース 1. セットアップを中断する場合は『はい』をクリックしてください。

セットアップを継続する場合は『いいえ』をクリックしてください。



ケース 2. 『完了』をクリックしてください。



ケース 3. 『完了』をクリックしてください。



### 3. メンテナンスツールの起動

メンテナンスツールの起動について説明します。次の手順に従って操作を行ってください。  
メンテナンスツールは表示ユニットもしくは、計測ユニットとパソコンを接続して使用します。

表示ユニットと接続する場合と計測ユニットと接続する場合で説明します。

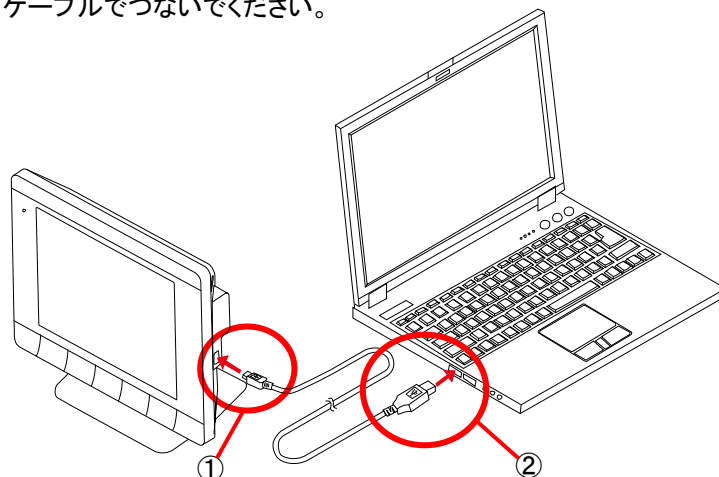
計測ユニットと接続する場合は「3.2. 計測ユニットと接続する場合」(18 ページ)以降を参照してください。  
メンテナンスツールの起動は、管理者権限のあるユーザーアカウントにて行ってください。

#### 3.1. 表示ユニットと接続する場合

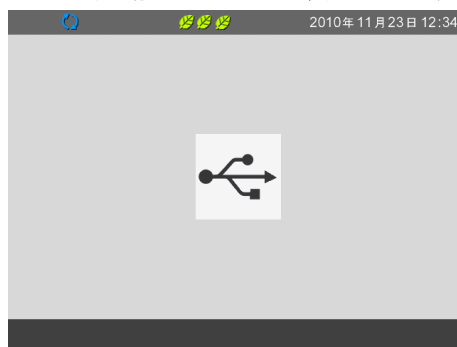
1. 表示ユニットの AC アダプタが表示ユニットとコンセントに差し込まれていることを確認してください。
2. 次の手順でパソコンと表示ユニットを USB ケーブルでつないでください。

① USB(ミニBオス)ケーブル側と  
表示ユニットを接続する。

② パソコンのUSBポートに  
USB(Aオス)ケーブル側を接続する。



3. 表示ユニットの表示画面が次のように変わったことを確認してください。  
次の表示画面は USB ケーブルで表示ユニットとパソコンを接続中に表示します。  
このため、メンテナンスツールが起動していなくても表示されます。



#### One Point

- ・USB ケーブル接続中の表示画面は、表示ユニットのメイン画面以外では表示されません。
- ・USB ケーブルを接続したままの状態でも 1 か月以上放置しないでください。  
USB 接続中には、表示ユニットは計測ユニットからのデータ収集を行いません。  
計測ユニット内で 1 か月以上経過したデータは消失するため、USB 接続状態のままで放置すると、計測ユニットからデータ収集できずにグラフ等が欠落する場合があります。

4. ご使用の OS によっては、通信ドライバのセットアップ後(「2.2. 通信ドライバのセットアップ手順」(9 ページ)参照)に、初めて表示ユニットをパソコンに接続したとき、もしくは、ドライバインストール時に使用した USB ポート以外の USB ポートに USB ケーブルを接続したときに、再度、通信ドライバのインストールが要求される場合があります。

・Windows Vista の場合：

通信ドライバのインストール手順(Windows Vista)(14 ページ)を参照してください。

・Windows 7 の場合：

通信ドライバのインストール手順(Windows 7)(14 ページ)を参照してください。

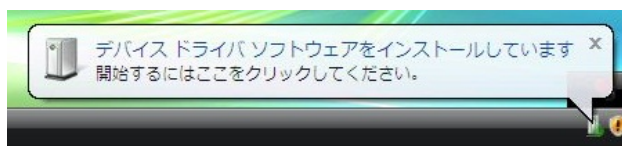
・Windows 8 / Windows 8.1 の場合：

再度、通信ドライバのインストールが要求される事はありません。

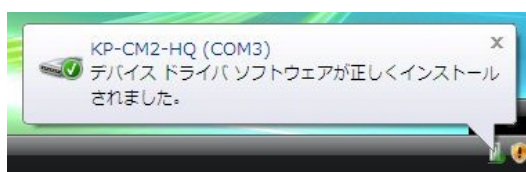
[通信ドライバのインストール手順(Windows Vista)]

- ①ソフトウェアをインストールしています。しばらくお待ちください。

※バルーンをクリックしなくても自動でインストールされます。

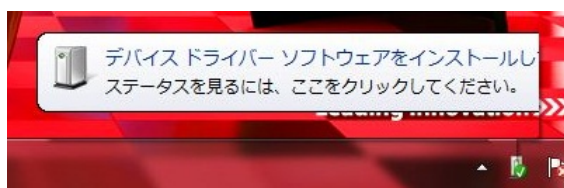


- ②インストールが完了しました。

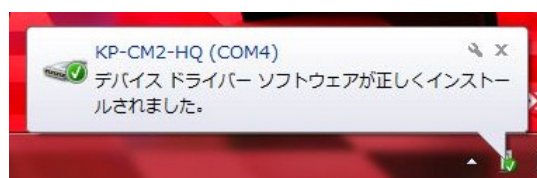


[通信ドライバのインストール手順(Windows 7)]

- ①ソフトウェアをインストールしています。しばらくお待ちください。




- ②インストールが完了しました。





5. アプリケーション『カラー表示ユニット メンテナンスツール』を起動します。

Windows のデスクトップ上にある『カラー表示ユニット メンテナンスツール』アイコンをダブルクリックするか、Windows のデスクトップ画面で、『スタート』→スタート画面左下の  をクリック→アプリ画面から『カラー表示ユニット メンテナンスツール』をクリックしてください。  
(画面は Windows 8.1 の画面を使用しています。)



6. COM ポート番号の確認をしてください。  
COM ポート番号の確認は次の手順で行ってください。  
(画面は Windows 8.1 の画面を使用しています。)

[COM ポート番号の確認手順]

[Windows Vista / Windows 7 の場合]

- ①『スタート』→『コンピュータ』を右クリックし、『プロパティ』をクリックしてください。  
『システム』ウィンドウが表示されたら、[全 OS 共通手順]の②へ進んでください。

[Windows 8 / Windows 8.1 の場合]

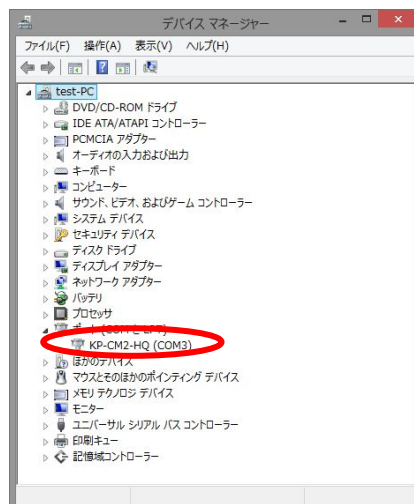
- ①デスクトップから、画面の右下の角に、マウスポインターを移動。  
チャームが表示されますので、『設定』→『コントロールパネル』→『システムとセキュリティ』→『システム』の順でクリックします。  
『システム』ウィンドウが表示されたら、[全 OS 共通手順]の②へ進んでください。

[全 OS 共通手順]

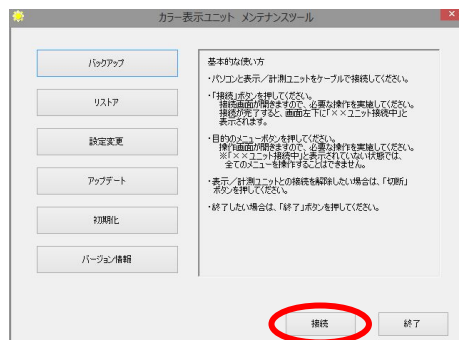
- ②『システム』ウィンドウが表示されたら、『デバイスマネージャー』をクリックします。



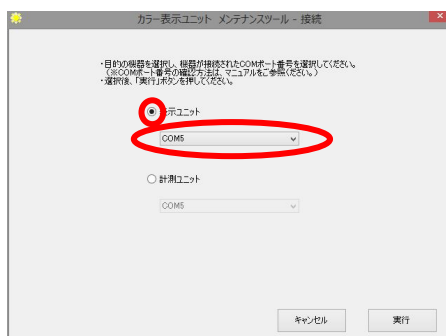
- ③『デバイスマネージャー』が表示されたら『ポート(COM と LPT)』を開きます。  
『KP-CM2-HQ』と表示されたデバイスが、表示ユニットです。  
(下図の例では、COM ポート番号は「COM3」になります)



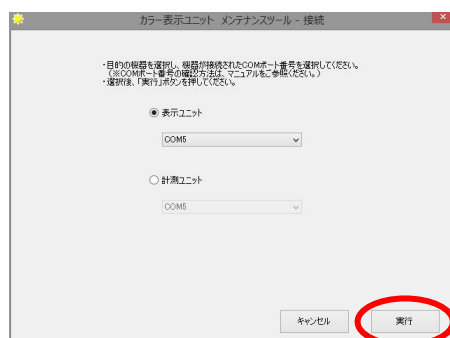
7. 『カラー表示ユニット メンテナンスツール』をクリックすることでプログラムが起動し、メニュー画面を表示します。『接続』をクリックしてください。



8. 表示ユニットにチェックを入れ、COM ポート番号を選択してください。  
COM ポート番号については「[COM ポート番号の確認手順]」(15 ページ)を参照してください。



9. 『実行』をクリックしてください。

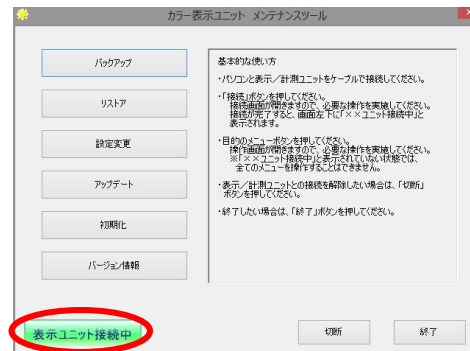


10. 接続が完了すると次の通知が表示されますので『OK』をクリックしてください。  
接続に失敗した場合は、「接続に失敗した場合の対応」(17 ページ)を参照してください。



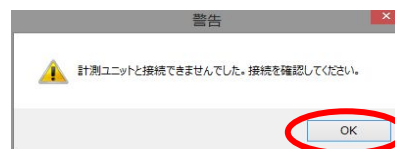


11. 表示ユニットと接続されていることを確認するため”表示ユニット接続中”の文字が表示されていることを確認してください。表示されていればメンテナンスツールの起動は完了です。  
メンテナンスツールの操作は「4. メンテナンスツールの操作(表示ユニット-パソコン)」(22 ページ)を参照してください。



## ■接続に失敗した場合の対応

1. 接続に失敗した場合は次の警告が表示されますので『OK』をクリックしてください。

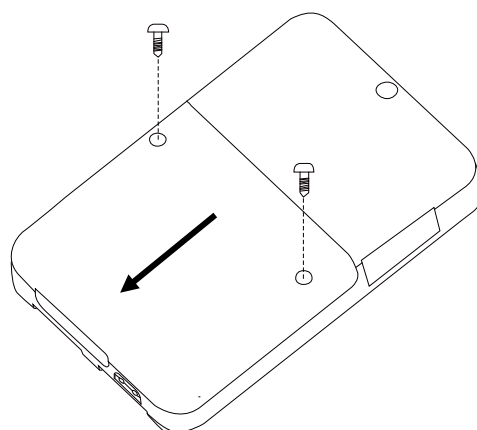


2. パソコンと表示ユニットの配線に間違いがないことを確認し再度接続確認を行ってください。  
接続方法は「3.1. 表示ユニットと接続する場合」(13 ページ)を参照してください。

### 3.2. 計測ユニットと接続する場合

1. 計測ユニットのフロントカバーを次のように取り外してください。

計測ユニットのフロントカバーを  
固定している 2 箇所のネジを外し  
フロントカバーを、矢印の方向に  
スライドし取り外してください。  
取り外したフロントカバーとネジは  
紛失しないよう保管してください。

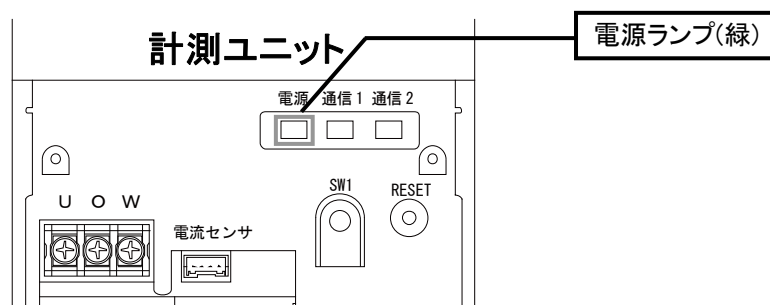


#### One Point



- ・フロントカバー落下防止のためのガイドがあるため、フロントカバーをスライドすると一旦止まりますが、そのままスライドし取り外してください。  
フロントカバーがガイドに引っかかった状態で、手前に持ち上げると、フロントカバーが破損する恐れがあります。

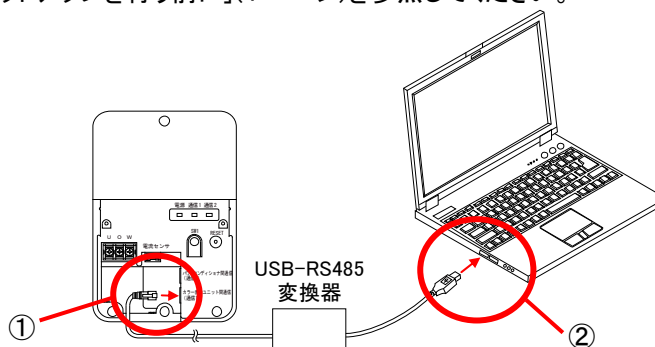
2. 計測ユニットの電源ランプ(緑)が点灯していることを確認してください。  
点灯していない場合は太陽光発電用ブレーカを ON にしてください。



3. 次の手順でパソコンと計測ユニットを USB-RS485 変換ケーブルでつないでください。  
USB-RS485 変換ケーブルについては「1.セットアップを行う前に」(4 ページ)を参照してください。


- ①USB-RS485変換ケーブルを  
計測ユニットの通信コネクタ(通信1)に  
接続する。

- ②USB-RS485変換ケーブルを  
パソコンに接続する。



※USB-RS485 変換器の設定と接続については USB-RS485 変換器の取扱説明書を参照してください。

4. アプリケーション『カラー表示ユニット メンテナンスツール』を起動します。

Windows のデスクトップ上にある『カラー表示ユニット メンテナンスツール』アイコンをダブルクリックするか、Windows のデスクトップ画面で、『スタート』→スタート画面左下の  をクリック→アプリ画面から『カラー表示ユニット メンテナンスツール』をクリックしてください。  
(画面は Windows 8.1 の画面を使用しています。)



5. COM ポート番号の確認をしてください。

COM ポート番号の確認は次の手順で行ってください。  
(画面は Windows 8.1 の画面を使用しています。)

[COM ポート番号の確認手順]

[Windows Vista / Windows 7 の場合]

- ①『スタート』→『コンピュータ』を右クリックし、『プロパティ』をクリックしてください。  
『システム』ウィンドウが表示されたら、[全 OS 共通手順]の②へ進んでください。

[Windows 8 / Windows 8.1 の場合]

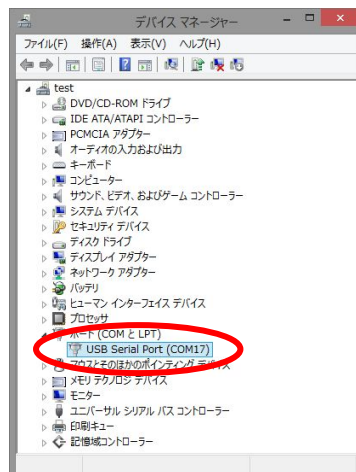
- ①デスクトップから、画面の右下の角に、マウスポインターを移動。  
チャームが表示されますので、『設定』→『コントロールパネル』→『システムとセキュリティ』→『システム』の順でクリックします。  
『システム』ウィンドウが表示されたら、[全 OS 共通手順]の②へ進んでください。

[全 OS 共通手順]

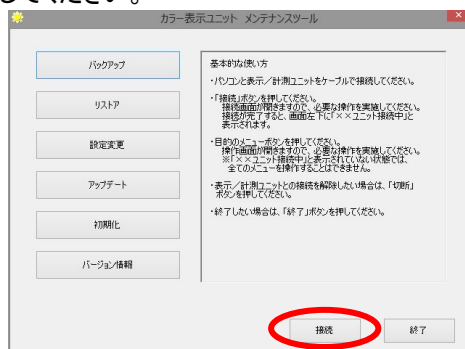
- ②『システム』ウィンドウが表示されたら、『デバイスマネージャー』をクリックします。



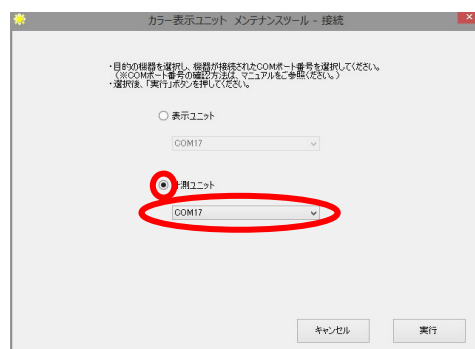
- ③『デバイスマネージャー』が表示されたら『ポート(COMとLPT)』を開きます。  
『USB Serial Port』と表示されたデバイスが、計測ユニットです。  
(下図の例では、COM ポート番号は「COM17」になります)



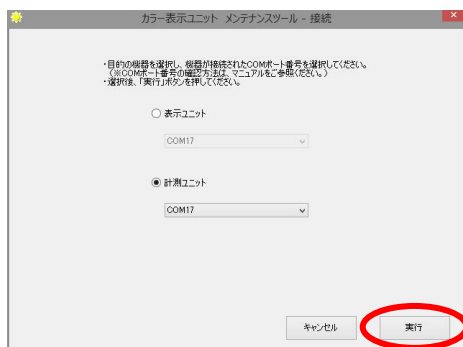
6. 『カラー表示ユニット メンテナンスツール』をクリックすることでプログラムが起動し、メニュー画面を表示します。『接続』をクリックしてください。



7. 計測ユニットにチェックを入れ、COM ポート番号を選択してください。  
COM ポート番号については「[COM ポート番号の確認手順]」(19 ページ) を参照してください。



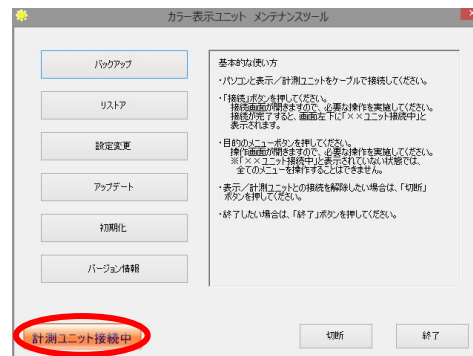
8. 『実行』をクリックしてください。



9. 接続が完了すると次の通知が表示されますので『OK』をクリックしてください。  
接続に失敗した場合は、「接続に失敗した場合の対応」(21 ページ)を参照してください。

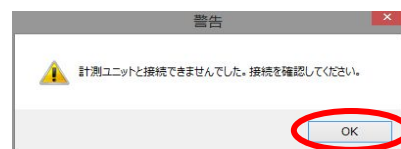


10. 計測ユニットと接続されていることを確認するため”計測ユニット接続中”の文字が表示されていることを確認してください。表示がされていればメンテナンスツールの起動は完了です。  
メンテナンスツールの操作は「5. メンテナンスツールの操作(計測ユニット-パソコン)」(44 ページ)を参照してください。



## ■接続に失敗した場合の対応

1. 接続に失敗した場合は次の警告が表示されますので『OK』をクリックしてください。



2. パソコンと計測ユニットの配線に間違いがないことを確認し再度接続確認を行ってください。  
接続方法は「3.2. 計測ユニットと接続する場合」(18 ページ)を参照してください。

## 4. メンテナンスツールの操作(表示ユニット-パソコン)

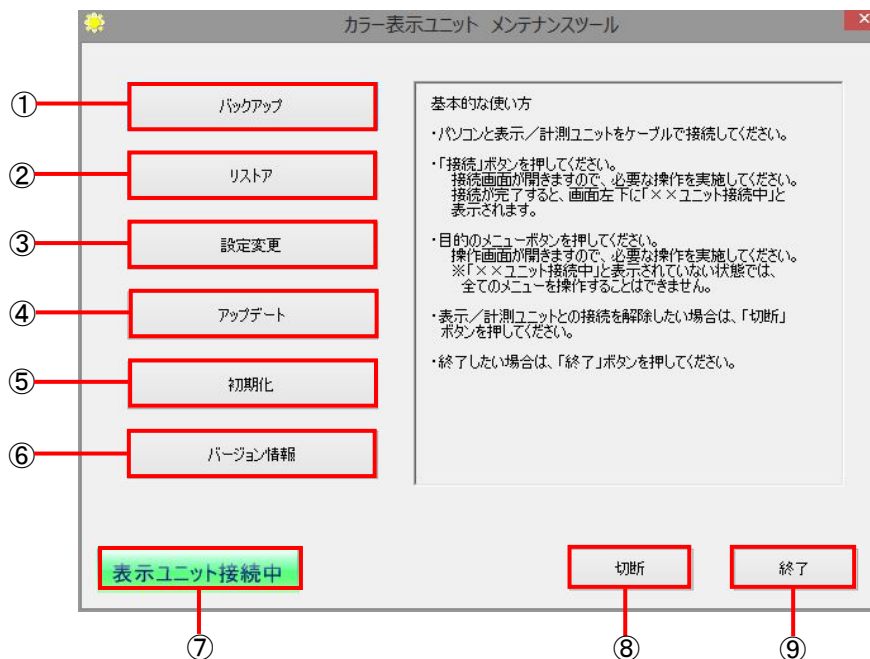
本章ではメンテナンスツールの操作について説明します。

パソコンを表示ユニットと接続する場合と計測ユニットと接続する場合で説明します。

計測ユニットと接続する場合の操作方法是「5. メンテナンスツールの操作(計測ユニット-パソコン)」(44 ページ)を参照してください。

### 4.1. メンテナンスツールについて

ここではメンテナンスツールで表示されるメニュー画面について説明します。



#### ①バックアップ(24 ページ)

表示ユニットの保持するデータを保存します。

#### ②リストア(27 ページ)

バックアップで保存したデータを表示ユニットに復帰させます。

#### ③設定変更(30 ページ)

表示ユニットの設定を変更します。

#### ④アップデート(36 ページ)

ファームウェアのアップデートを行います。

#### ⑤初期化(40 ページ)

表示ユニットの保持する内部データの初期化を行います。

#### ⑥バージョン情報(43 ページ)

メンテナンスツールと表示ユニットのバージョン情報を表示します。

⑦表示ユニット接続中

表示ユニットとメンテナンスツールが接続されている場合に表示します。

⑧接続/切断

表示ユニットとメンテナンスツールを接続もしくは切断します。

表示ユニットとメンテナンスツールが接続されている場合に「切断」、表示ユニットとメンテナンスツールが接続されていない場合に「接続」を表示します。

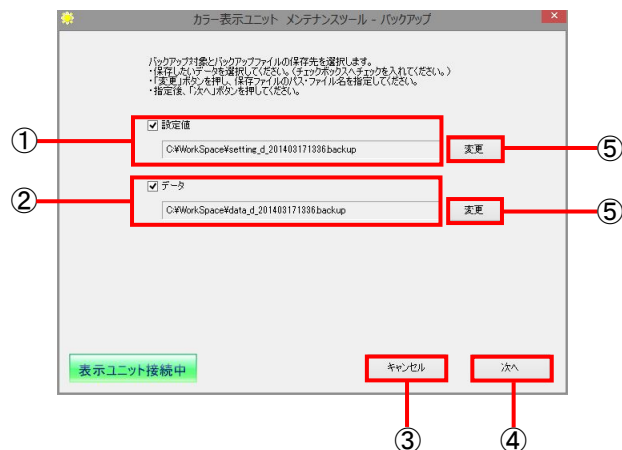
切断を押すと表示ユニットが再起動し変更した設定を表示ユニットに反映します。

⑨終了

メンテナンスツールを終了し、画面を閉じます。

## 4.2.バックアップ

表示ユニットが保持するデータをパソコンに保存することができます。



### ①設定値

表示ユニットの設定情報を保存します。

保存する際にチェックを入れてバックアップファイル名を保存します。

### ②データ

表示ユニットの過去実績データを保存します。

保存する際にチェックを入れてバックアップファイル名を保存します。

### ③キャンセル

メニュー画面に戻ります。

### ④次へ

バックアップファイル確認画面を表示します。

### ⑤変更

バックアップファイル名を指定します。

チェックが入っていない場合、操作することはできません。



## ■バックアップデータ保存方法

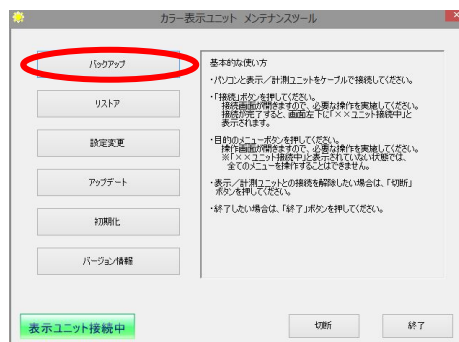
バックアップデータの保存方法を説明します。

ここでは設定値とデータの両方を保存する場合について説明します。

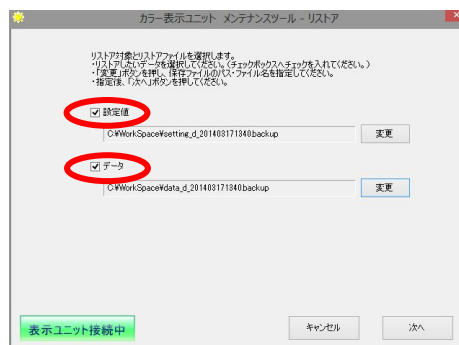
設定値もしくはデータのみ保存する場合も同様に操作を行ってください。

### [バックアップデータ保存手順]

1. 『バックアップ』をクリックしてください。



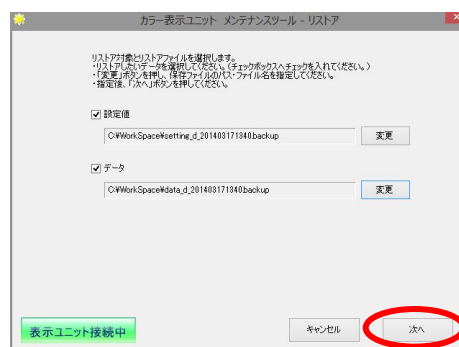
2. 『設定値』と『データ』にチェックを入れてください。



3. デフォルトのファイル名、保存先に保存する場合は『次へ』をクリックしてください。

ファイル名、保存先を変更する場合は『変更』をクリックしてください。

※ ファイル保存時、同一名称のファイルが存在すると、上書き保存されます。



### デフォルトファイル名

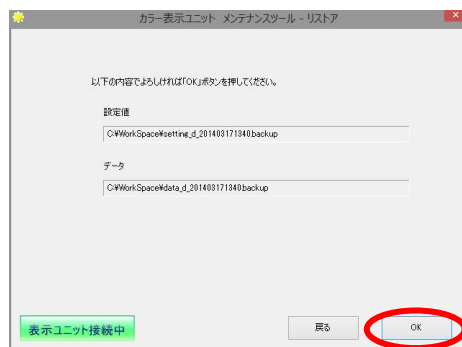
	デフォルトファイル名
設定値	setting_d_YYYYMMDDHHMM.backup
データ	data_d_YYYYMMDDHHMM.backup

### ※ファイル名称について

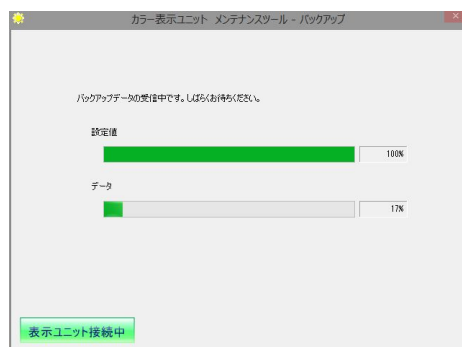
保存するタイミングによりファイル名称が付与されます。

YYYY: 西暦 MM: 月 DD: 日 HH: 時 MM: 分

4. 『OK』をクリックしてください。



5. バックアップデータの受信中です。しばらくお待ちください。



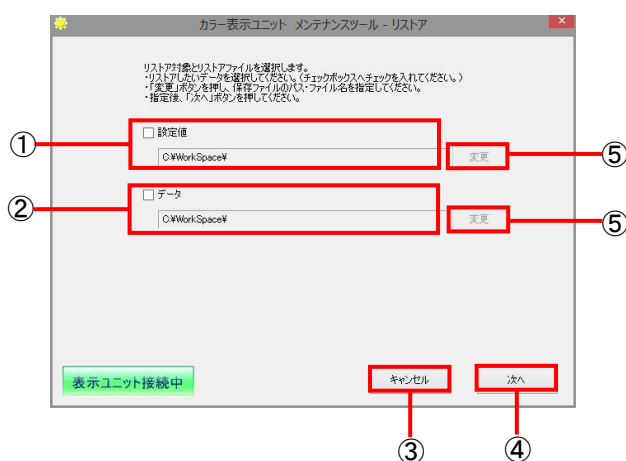
6. バックアップデータの保存を完了しました。『OK』をクリックしてください。



7. 別の表示ユニットにリストアする場合は、必ずメンテナンスツールを終了させてからケーブルを外してください。先にケーブルを外すと表示ユニットが動作しなくなります。  
メンテナンスツールを終了させる方法は、「6. メンテナンスツールの終了」(63 ページ)を参照してください。  
続いて他の機能を行う場合は各項の操作に従ってください。

### 4.3. リストア

バックアップで保存した設定値、データを表示ユニットにリストアします。



#### ① 設定値

表示ユニットの設定情報を送信します。

送信する際にチェックを入れてリストアするファイル名を保存します。

#### ② データ

表示ユニットの過去実績データを送信します。

送信する際にチェックを入れてリストアするファイル名を保存します。

#### ③ キャンセル

メニュー画面に戻ります。

#### ④ 次へ

リストア内容確認画面を表示します。

#### ⑤ 変更

リストアファイル名を指定します。

チェックが入っていない場合、操作することはできません。

## ■リストア方法

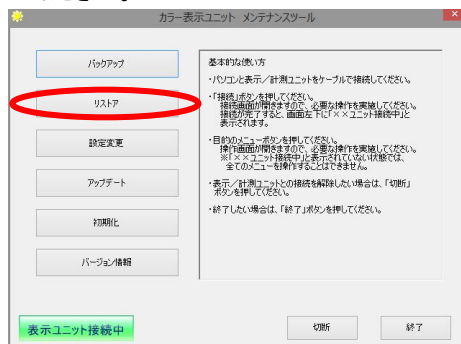
リストア方法を説明します。

ここでは設定値とデータの両方をリストアする場合について説明します。

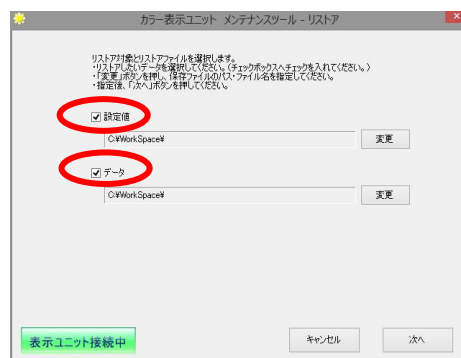
設定値もしくはデータのみリストアする場合も同様に操作を行ってください。

### [リストア手順]

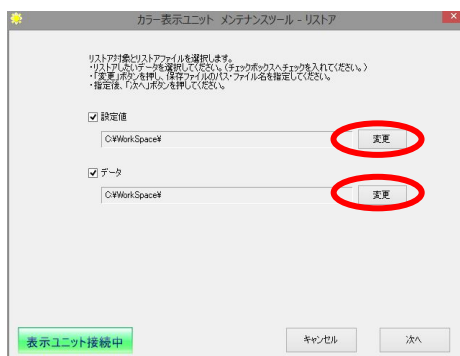
1. 『リストア』をクリックしてください。



2. 『設定値』と『データ』にチェックを入れてください。



3. 『変更』をクリックしリストアするファイル名、ファイル保存先を選択してください。



バックアップ時にデフォルトファイル名で保存した場合は以下のデフォルトファイル名を選択してください。

	デフォルトファイル名
設定値	setting_d_YYYYMMDDHHMM.backup
データ	data_d_YYYYMMDDHHMM.backup

※ファイル名称について

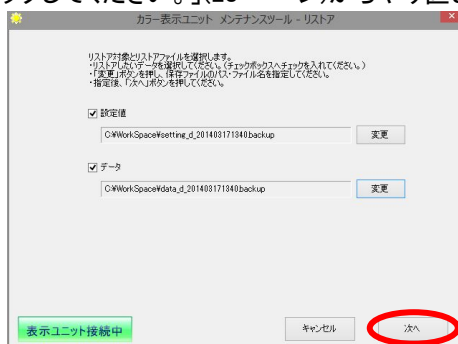
保存するタイミングによりファイル名称が付与されます。

YYYY:西暦 MM:月 DD:日 HH:時 MM:分

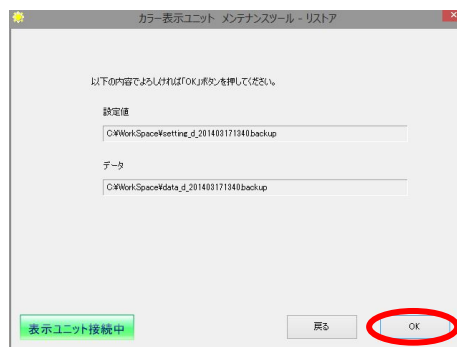
4. ファイル名、ファイル保存先を選択後『次へ』をクリックしてください。

設定値のファイルとデータのファイルを選択し間違えた場合『ファイルの読み込みに失敗しました。ファイルを確認してください。』とエラーメッセージが表示されますので、変更するファイルを確認後、

「1. 『リストア』をクリックしてください。」(28 ページ)からやり直してください。



5. 『OK』をクリックしてください。



6. リストアデータの送信中です。しばらくお待ちください。



7. リストアが完了しました。『OK』をクリックしてください。



8. メンテナンスツールを終了させる場合は、必ずメンテナンスツールを終了させてからケーブルを外してください。先にケーブルを外すと表示ユニットが動作しなくなります。
- メンテナンスツールを終了させる方法は、「6. メンテナンスツールの終了」(63 ページ)を参照してください。
- 続いて他の機能を行う場合は各項の操作に従ってください。

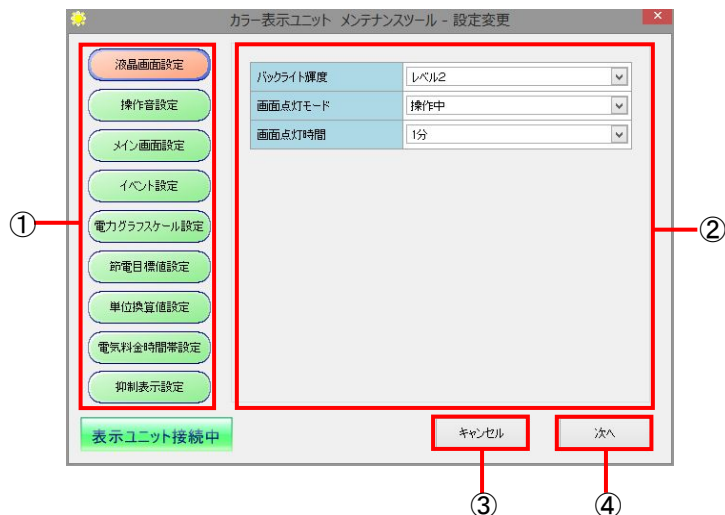
### 重要

表示ユニットのリストア後に計測ユニットと通信設定を行ってください。

通信設定は施工・保守マニュアルの「6.3.通信設定」(66 ページ)を参照してください。

#### 4.4. 設定変更

現在の設定値を目的にあわせて変更することができます。



##### ① 設定項目ボタン

選択した項目の設定値を設定表示領域に表示します。

##### <<各種機能一覧>>

液晶画面設定……………表示画面の明るさ、画面点灯モード、点灯時間を設定できます。

操作音設定……………キー操作音のON/OFF を設定できます。

メイン画面設定……………表示タイプと背景画像を設定できます。

イベント設定……………発電開始記念日、発電量達成記念の有無を設定できます。

電力グラフスケール設定…各種グラフ表示のスケール(表示の最大値)を設定できます。

節電目標値設定……………毎月の目標消費電力量を設定できます。

単位換算値設定……………電力量 [kWh] をCO<sub>2</sub>や石油に換算する値を設定できます。

電気料金時間帯設定………取扱説明書の「4.8.時間帯別消費電力比率」(34 ページ)で表示する時間帯を設定できます。

抑制表示設定……………「電圧上昇抑制」および「温度上昇抑制」のアイコン表示の有無を選択できます。

##### ② 設定表示領域

設定項目ボタン押下により現在設定されている設定値を表示します。

##### ③ キャンセル

メニュー画面に戻ります。

##### ④ 次へ

変更した設定値を保存します。

設定値変更前に設定変更確認画面を表示します。

## ■各設定項目について

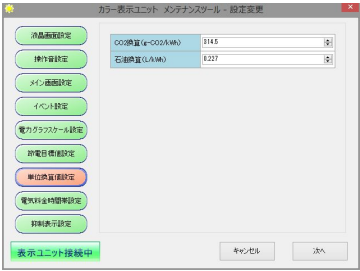


ここでは各設定項目について説明します。

目的に合わせ各種項目の設定を変更してください。

表示画面	設定値	設定範囲	初期値
<b>液晶画面設定</b> 「表示画面の明るさ」、「画面点灯モード」、「点灯時間」を設定できます。 	<b>バックライト輝度</b> バックライトの明るさを4段階で調整できます。	<b>レベル 1～4</b> レベル1が最も暗く、レベル4が最も明るい設定です。	<b>レベル 2</b>
	<b>画面点灯モード</b> 画面が点灯する条件を設定できます。	<b>操作中</b> 操作キーを押したときに画面が点灯し、無操作状態が一定時間以上続くと画面が消灯します。  <b>発電中</b> 太陽光発電中は常に画面が点灯し、発電停止中は「操作中」設定と同じ動作となります。	<b>操作中</b>
	<b>画面点灯時間</b> 画面が点灯する時間を設定できます。	<b>30 秒/1 分/5 分/10 分</b>	<b>1 分</b>
<b>操作音設定</b> キー操作音の ON/OFF を設定できます。 	<b>操作音</b> キー操作音の ON/OFF が設定できます。	<b>ON/OFF</b>	<b>ON</b>
<b>メイン画面設定</b> 表示タイプと背景画像を設定できます。 	<b>表示タイプ</b> メイン画面のナビモード表示画面タイプを選択できます。	<b>タイプ A/タイプ B/タイプ C</b>	<b>タイプ A</b>
	<b>背景画像</b> 画面の背景画像を設定できます。	<b>標準</b> 標準の背景を使用します。  <b>カスタム</b> ダウンロードした画像を背景画像として使用します。	<b>標準</b>

表示画面	設定値	設定範囲	初期値
<b>イベント設定</b> 発電開始記念日、発電量達成記念の表示の有無を設定できます。 	<b>発電開始記念日</b> 発電開始記念日イベント表示の有無を設定できます。	表示する/表示しない	表示する
	<b>発電量達成記念</b> 発電量達成記念イベント表示の有無および発電量の達成目標値を設定できます。	10000kWh おき／ 20000kWh おき／ 30000kWh おき／ 40000kWh おき／ 50000kWh おき／ 表示しない	10000kWh おき
<b>電力グラフスケール設定</b> 各種グラフ表示のスケールを設定します。(グラフスケールの設定は、全実績データに適用されます。) 	<b>日間グラフ(1 時間単位)</b> 日間グラフの表示範囲を2[kWh] 刻みで設定できます。	2[kWh]～50[kWh] (2[kWh]刻み)	10 [kWh]
	<b>月間グラフ(1 日単位)</b> 月間グラフの表示範囲を10[kWh]刻みで設定できます。	10[kWh]～1000[kWh] (10[kWh]刻み)	30 [kWh]
	<b>年間グラフ(1 月単位)</b> 年間グラフの表示範囲を100[kWh]刻みで設定できます。	100[kWh]～9000[kWh] (100[kWh]刻み)	800 [kWh]
<b>節電目標値設定</b> 毎月の目標消費電力量を設定できます。 	<b>目標値選択</b> 節電目標値を選択できます。	数値指定／前月実績／前年同月実績	数値指定
	<b>目標消費電力量(kWh/月)</b> 目標消費電力を選択できます。	0～9999[kWh/月]	800[kWh/月]



表示画面	設定値	設定範囲	初期値
<b>単位換算値設定</b> 電力量 [kWh] を CO <sub>2</sub> や石油に換算する際の換算値を設定します。 	CO <sub>2</sub> 換算(g-CO <sub>2</sub> /kWh) CO <sub>2</sub> 換算表示の換算レートを設定できます。	0～999.9 [g-CO <sub>2</sub> /kWh]	314.5[g-CO <sub>2</sub> /kWh]
	石油換算(L/kWh) 石油換算表示の換算レートを設定できます。	0～9.999 [L/kWh]	0.227[L/kWh]
<b>電気料金時間帯設定</b> 取扱説明書の「4.8.時間帯別消費電力比率」(34 ページ)で表示する時間帯を設定できます。 	時間帯別消費電力比率で表示する時間帯の設定ができます。	0～23 時 (1 時間単位)	時間帯 A 07:00～10:00 時間帯 B 10:00～17:00 時間帯 C 17:00～23:00 時間帯 D 00:00～07:00 23:00～00:00
<b>抑制表示設定</b> パワーコンディショナが「電圧上昇抑制状態」および「温度上昇抑制状態」のアイコン表示の有無を選択します。 	電圧抑制表示 電圧上昇抑制状態のときのアイコン表示の有無を選択できます。	する/しない	する
	温度抑制表示 温度上昇抑制状態のときのアイコン表示の有無を選択できます。	する/しない	する

## ■設定変更方法

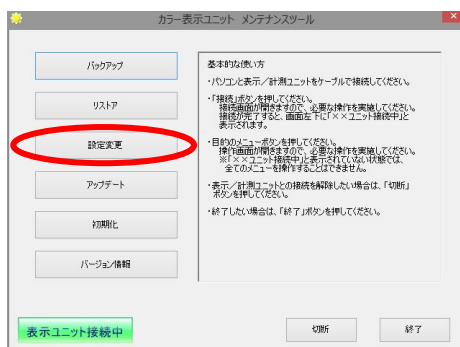
設定変更方法について説明します。

ここでは操作音の設定を『ON』から『OFF』に変更する場合について説明します。

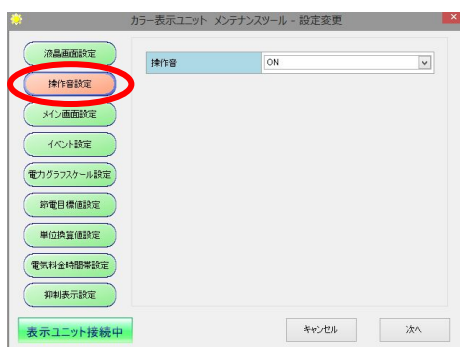
その他の設定を変更する場合も同様な設定変更手順の操作を行ってください。

### [設定変更手順]

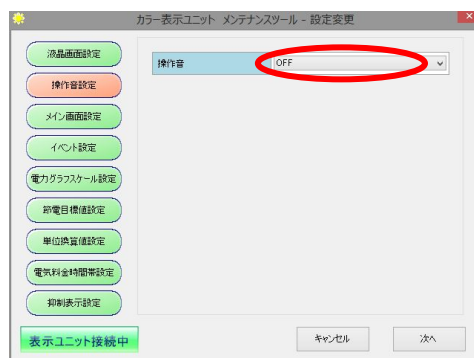
1. 『設定変更』をクリックしてください。



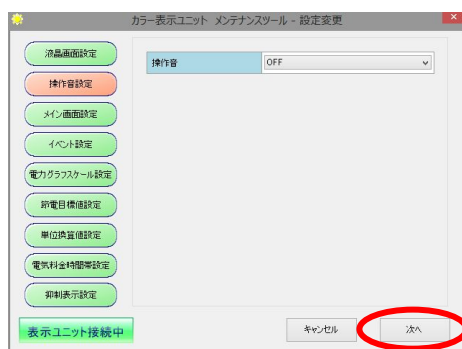
2. 『操作音設定』をクリックしてください。



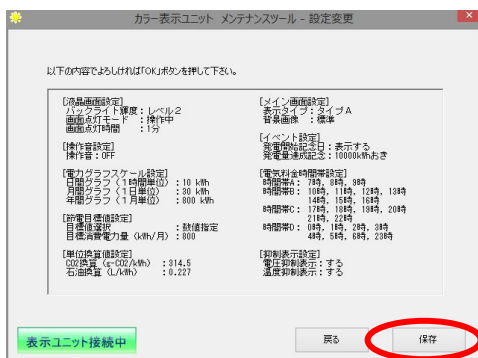
3. 操作音を ON から OFF に変更してください。



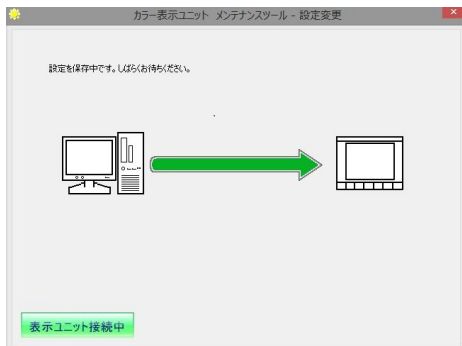
4. 『次へ』をクリックしてください。



5. 保存する内容を表示します。この内容で設定を変更する場合は『保存』をクリックしてください。  
内容を変更する場合は『戻る』をクリックして再度設定を変更してください。



6. 設定を保存中です。しばらくお待ちください。



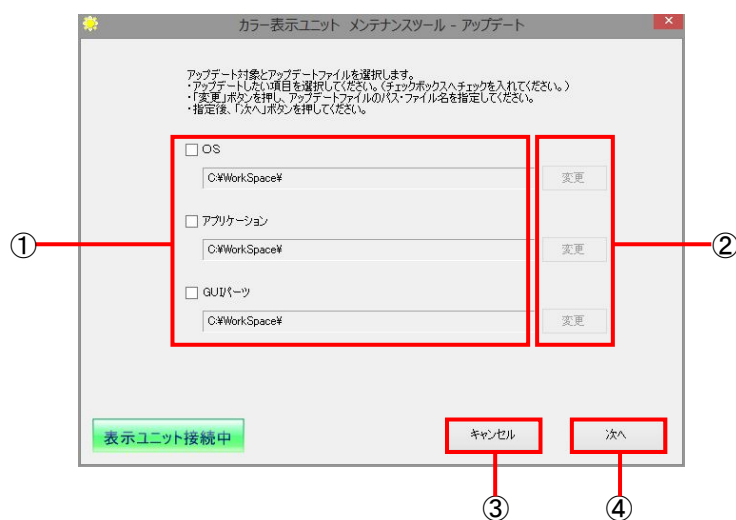
7. 設定変更を完了しました。『OK』をクリックしてください。



8. メンテナンスツールを終了させる場合は、必ずメンテナンスツールを終了させてからケーブルを外してください。先にケーブルを外すと表示ユニットが動作しくなくなります。  
メンテナンスツールを終了させる方法は、「6. メンテナンスツールの終了」(63 ページ)を参照してください。  
続いて他の機能を行う場合は各項の操作に従ってください。

## 4.5. アップデート

アップデートファイルを使って表示ユニットをアップデートします。



### ①アップデート対象選択箇所

アップデート対象にチェックすると、アップデートファイルが選択可能になります。  
選択したファイルのパスが表示されます。

### ②変更

アップデートファイルを選択します。

### ③キャンセル

メニュー画面に戻ります。

### ④次へ

変更した設定値を保存します。

設定値変更前に設定変更確認画面を表示します。

## ■アップデート方法

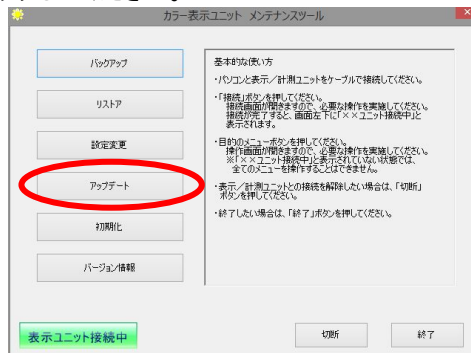
アップデート方法について説明します。

ここでは『OS』『アプリケーション』『GUI パーツ』をアップデートする場合について説明します。

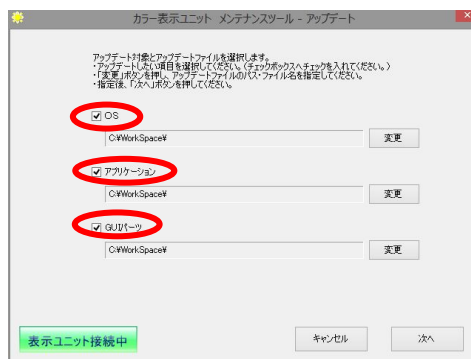
各項目のみアップデートする場合も同様に操作を行ってください。

### [アップデート手順]

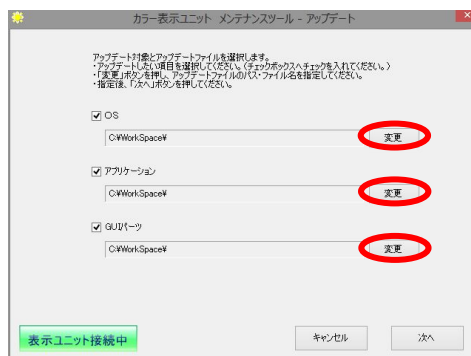
1. 『アップデート』をクリックしてください。



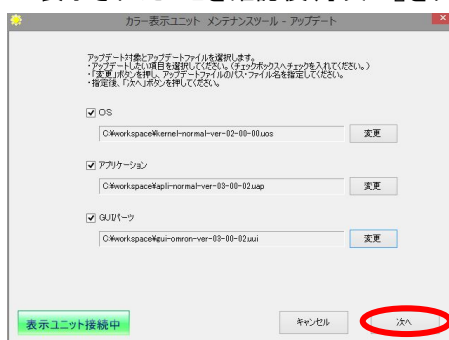
2. 『OS』『アプリケーション』『GUI パーツ』にチェックをしてください。



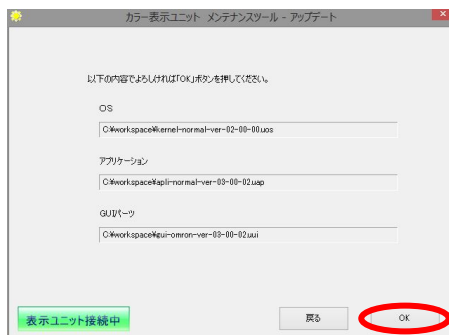
3. 『変更』をクリックし、アップデートファイルを選択してください。



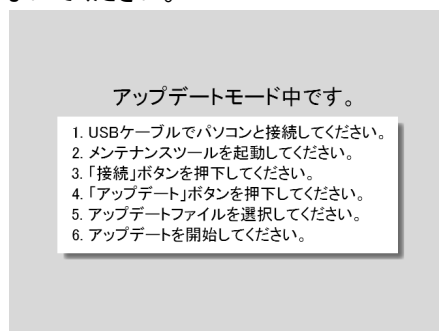
4. 選択したファイルパスが表示されたことを確認後、『次へ』をクリックしてください。



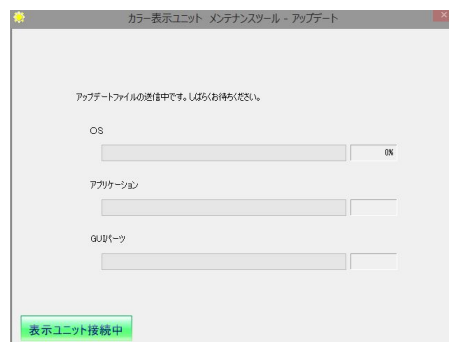
5. 内容に間違いが無ければ『OK』をクリックしてください。  
ファイルを変更する場合は『戻る』をクリックしてください。



6. 表示ユニットの画面が以下のように変わったことを確認してください。  
※表示ユニットの画面が以下の”アップデートモード中です。”の表示になっている間は、アップデート以外の操作を行わないでください。



7. データ送信中です。完了するまでしばらくお待ちください。  
アップデートに失敗した場合『～の更新に失敗しました。再送しますか？』と再送確認が表示されますので『はい』をクリックしてアップデートを再実行してください。  
『はい』を何度クリックしても失敗する場合は、『いいえ』をクリックし「3.1.表示ユニットと接続する場合」(13 ページ)を行ってから再度「1. 『アップデート』をクリックしてください。」(37 ページ)から操作を行ってください。



8. アップデートが完了しました。『OK』をクリックしてください。



9. 完了するとメンテナンスツールが切断されます。『OK』をクリックしてください。



10. メンテナンスツールを終了させる場合は、メンテナンスツールを終了させてからケーブルを外してください。

メンテナンスツールを終了させる方法は、「6. メンテナンスツールの終了」(63 ページ)を参照してください。

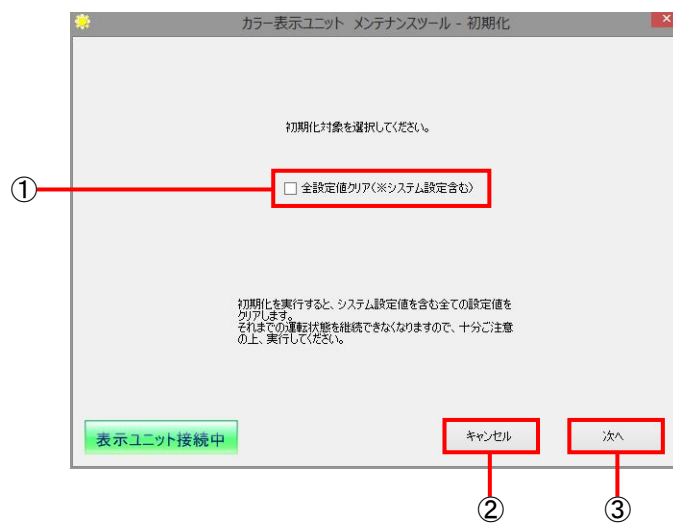
続いて他の機能を行う場合は「3.1. 表示ユニットと接続する場合」(13 ページ)を行ってから各項の操作に従ってください。

#### 4.6. 初期化

表示ユニットを工場出荷状態へ初期化します。

実行後は工場出荷状態になるため、表示ユニットは初期設定ナビ画面となります。

PC ツールを使用して変更した背景画像は工場出荷時の状態に戻りません。



##### ①初期化対象

初期化を行う際に選択してください。

##### ②キャンセル

メニュー画面に戻ります。

##### ③次へ

選択した対象を初期化します。

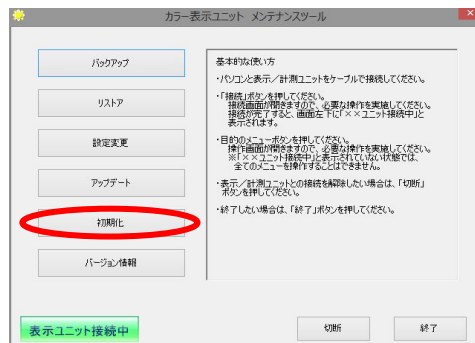


## ■初期化方法

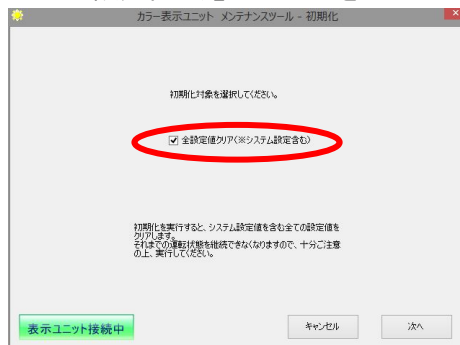
初期化方法について説明します。

### [初期化手順]

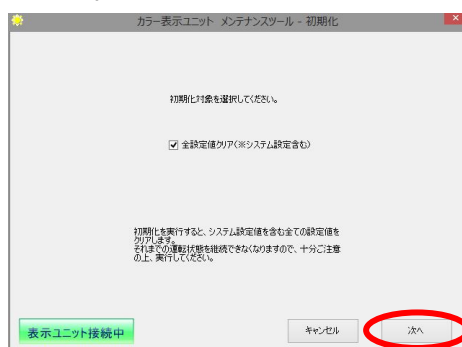
1. 『初期化』をクリックしてください。



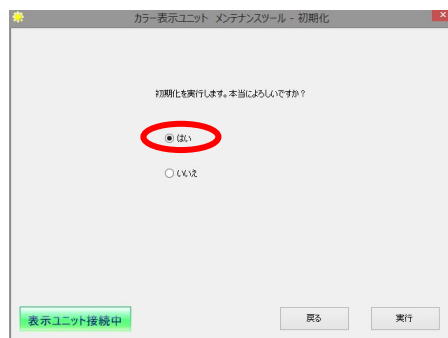
2. 『全設定値クリア(※システム設定含む)』にチェックを入れてください。



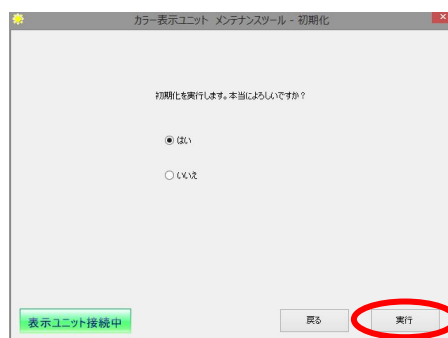
3. 『次へ』をクリックしてください。



4. 『はい』にチェックを入れてください。



5. 『実行』をクリックしてください。



6. 全設定値クリアを完了しました。『OK』をクリックしてください。



7. メンテナンスツールを終了させる場合は、必ずメンテナンスツールを終了させてからケーブルを外してください。先にケーブルを外すと表示ユニットが動作しなくなります。

メンテナンスツールを終了させる方法は、「6. メンテナンスツールの終了」(63 ページ)を参照してください。

続いて他の機能を行う場合は各項の操作に従ってください。

#### 4.7. バージョン情報

表示ユニットとメンテナンスツールのソフトバージョンを表示します。



①PC アプリケーション

メンテナンスツールのソフトバージョンを表示します。

②OS

表示ユニットの OS バージョンを表示します。

③APP

表示ユニットのアプリケーションバージョンを表示します。

④GUI

表示ユニットの GUI バージョンを表示します。

⑤OK

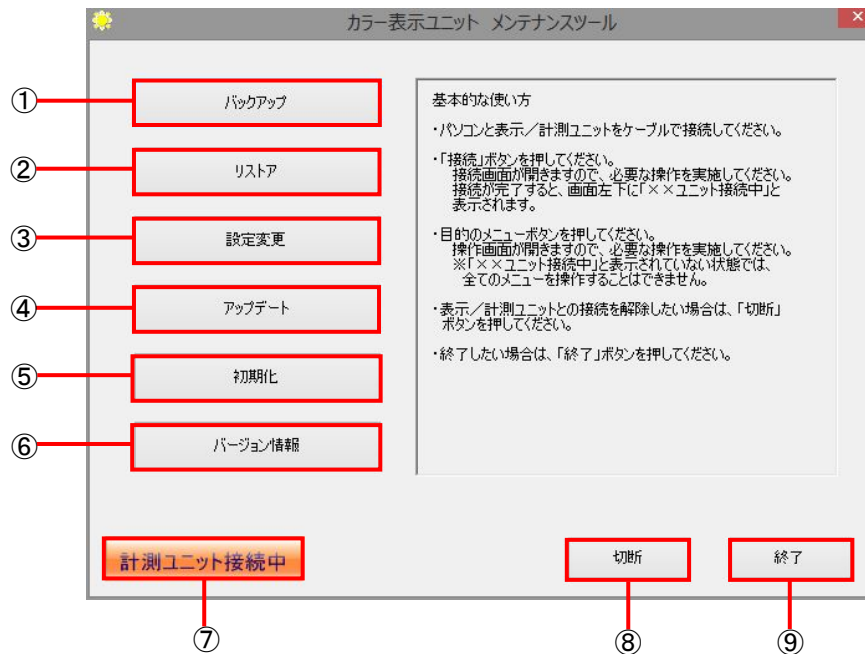
確認後『OK』をクリックしてメニュー画面に戻ってください。

## 5. メンテナンスツールの操作(計測ユニット-パソコン)

本章では計測ユニットをメンテナンスツールで操作する方法について説明します。

### 5.1. メンテナンスツールについて

ここではメンテナンスツールで表示されるメニュー画面について説明します。



#### ①バックアップ(46 ページ)

計測ユニットの保持するデータを保存します。

#### ②リストア(49 ページ)

バックアップで保存したデータを計測ユニットに復帰させます。

#### ③設定変更(52 ページ)

計測ユニットの設定を変更します。

#### ④アップデート(55 ページ)

ファームウェアのアップデートを行います。

#### ⑤初期化(59 ページ)

計測ユニットの保持する内部データの初期化を行います。

#### ⑥バージョン情報(62 ページ)

メンテナンスツールと計測ユニットのバージョン情報を表示します。

⑦計測ユニット接続中

計測ユニットとメンテナンスツールが接続されている場合に表示します。

⑧接続/切断

計測ユニットとメンテナンスツールを接続もしくは切断します。

計測ユニットとメンテナンスツールが接続されている場合に「切断」、計測ユニットとメンテナンスツールが接続されていない場合に「接続」を表示します。

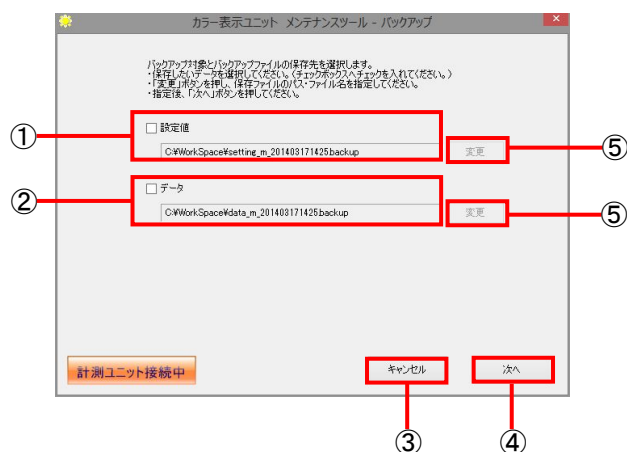
切断を押すと計測ユニットが再起動し変更した設定を計測ユニットに反映します。

⑨終了

メンテナンスツールを終了し、画面を閉じます。

## 5.2. バックアップ

計測ユニットに蓄積されたデータをパソコンに保存することができます。



### ① 設定値

計測ユニットの設定情報を保存します。

保存する際にチェックを入れてバックアップファイル名を保存します。

### ② データ

計測ユニットの過去実績データを保存します。

保存する際にチェックを入れてバックアップファイル名を保存します。

### ③ キャンセル

メニュー画面に戻ります。

### ④ 次へ

バックアップ内容確認画面を表示します。

### ⑤ 変更

バックアップファイル名を指定します。

チェックが入っていない場合、操作することはできません。

## ■バックアップデータ保存方法

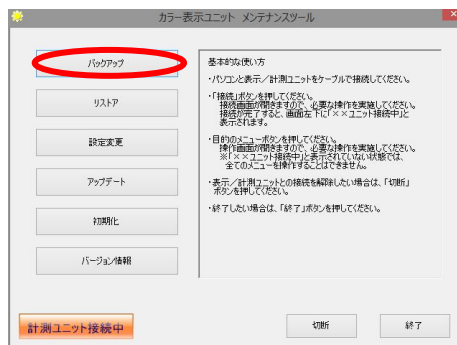
バックアップデータの保存方法を説明します。

ここでは設定値とデータの両方を保存する場合について説明します。

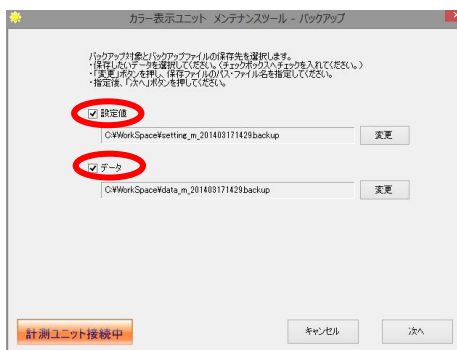
設定値もしくはデータのみ保存する場合も同様に操作を行ってください。

### [バックアップデータ保存手順]

1. 『バックアップ』をクリックしてください。



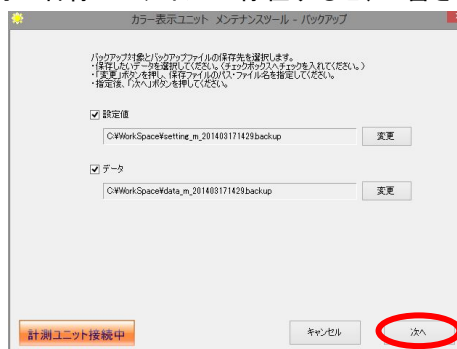
2. 『設定値』と『データ』にチェックを入れてください。



3. デフォルトのファイル名、保存先に保存する場合は『次へ』をクリックしてください。

ファイル名、保存先を変更する場合は『変更』をクリックしてください。

※ファイル保存時、同一名称のファイルが存在すると、上書き保存されます。



### デフォルトファイル名

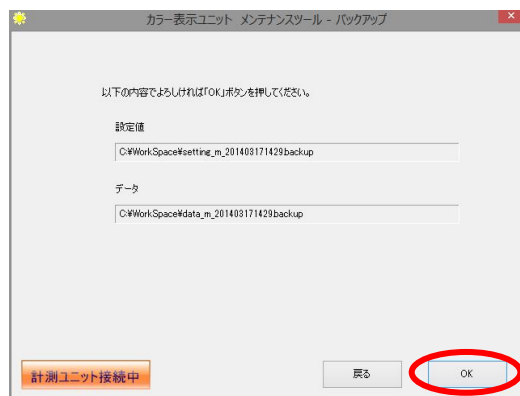
	デフォルトファイル名
設定値	setting_m_YYYYMMDDHHMM.backup
データ	data_m_YYYYMMDDHHMM.backup

### ※ファイル名称について

保存するタイミングによりファイル名称が付与されます。

YYYY: 西暦 MM: 月 DD: 日 HH: 時 MM: 分

4. 『OK』をクリックしてください。



5. バックアップデータの受信中です。しばらくお待ちください。



6. バックアップデータの保存を完了しました。『OK』をクリックしてください。



7. 別の計測ユニットにリストアする場合は、メンテナンスツールを終了させてからケーブルを外してください。

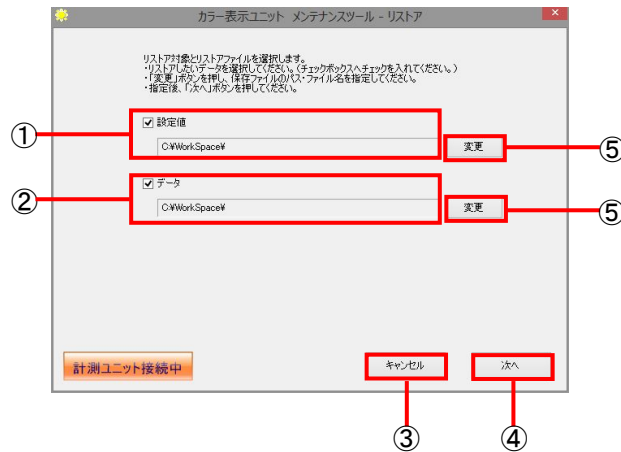
メンテナンスツールを終了させる方法は、「6. メンテナンスツールの終了」(63 ページ)を参照してください。

続いて他の機能を行う場合は各項の操作に従ってください。



### 5.3. リストア

バックアップで保存した設定値、データを計測ユニットに復帰します。



#### ①設定値

計測ユニットの設定情報を送信します。

送信する際にチェックを入れてリストアするファイル名を保存します。

#### ②データ

計測ユニットの過去実績データを送信します。

送信する際にチェックを入れてリストアするファイル名を保存します。

#### ③キャンセル

メニュー画面に戻ります。

#### ④次へ

リストア内容確認画面を表示します。

#### ⑤変更

リストアファイル名を指定します。

チェックが入っていない場合、操作することはできません。

## ■リストア方法

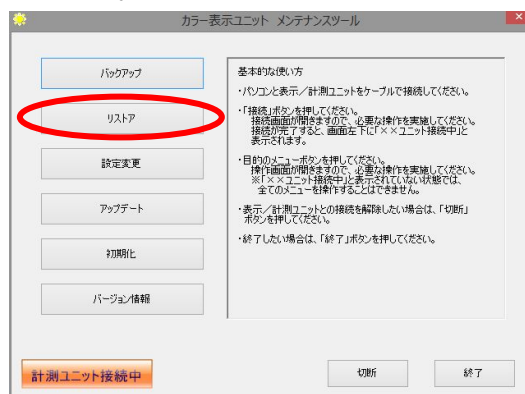
リストア方法を説明します。

ここでは設定値とデータの両方をリストアする場合について説明します。

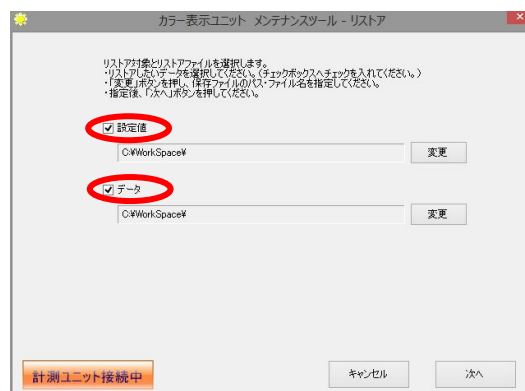
設定値もしくはデータのみリストアする場合も同様に操作を行ってください。

### [リストア手順]

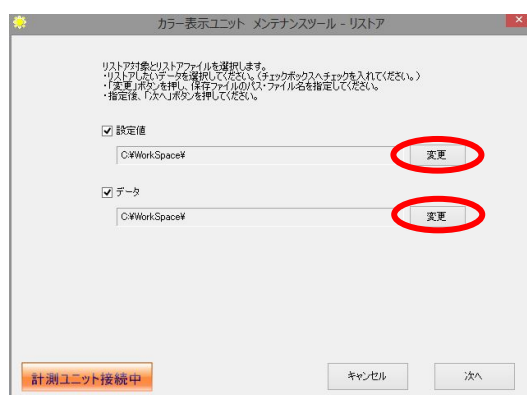
1. 『リストア』をクリックしてください。



2. 『設定値』と『データ』にチェックを入れてください。



3. 『変更』をクリックし、リストアするファイル名、ファイル保存先を選択してください。



バックアップ時にデフォルトファイル名で保存した場合は以下のデフォルトファイル名を選択してください。

	デフォルトファイル名
設定値	setting_m_YYYYMMDDHHMM.backup
データ	data_m_YYYYMMDDHHMM.backup

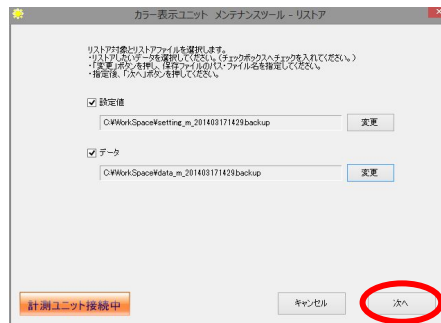
※ファイル名称について

保存するタイミングによりファイル名称が付与されます。

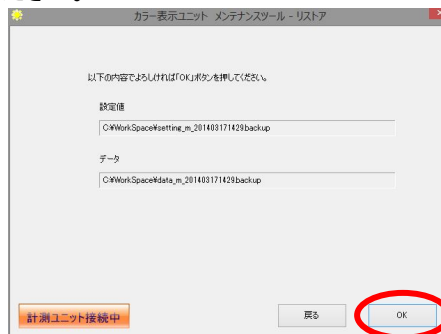
YYYY:西暦 MM:月 DD:日 HH:時 MM:分

4. ファイル名、ファイル保存先を選択後、『次へ』をクリックしてください。

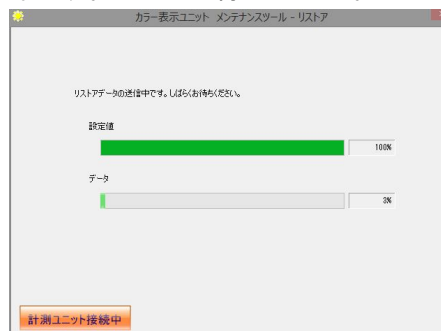
設定値のファイルとデータのファイルを選択し間違えた場合、『ファイルの読み込みに失敗しました。ファイルを確認してください。』とエラーメッセージが表示されますので、変更するファイルを確認後、「1. 『リストア』をクリックしてください。」(50 ページ)からやり直してください。



5. 『OK』をクリックしてください。



6. リストアデータの送信中です。しばらくお待ちください。



7. リストアが完了しました。『OK』をクリックしてください。



8. メンテナンスツールを終了させる場合は、メンテナンスツールを終了させてからケーブルを外してください。
- メンテナンスツールを終了させる方法は、「6. メンテナンスツールの終了」(63 ページ)を参照してください。続いて他の機能を行う場合は各項の操作に従ってください。

## 重要

計測ユニットのリストア後に表示ユニットと通信設定を行ってください。

通信設定は施工・保守マニュアルの「6.3.通信設定」(66 ページ)を参照してください。

## 5.4. 設定変更

現在の設定値を目的にあわせて変更することができます。



### ①設定項目ボタン

選択した項目の設定値を設定表示領域に表示します。

### ②設定表示領域

設定項目ボタン押下により現在設定されている設定値を表示します。

### ③キャンセル

メニュー画面に戻ります。

### ④次へ

変更した設定値を保存します。

設定値変更前に設定変更確認画面を表示します。

## ■各設定項目について

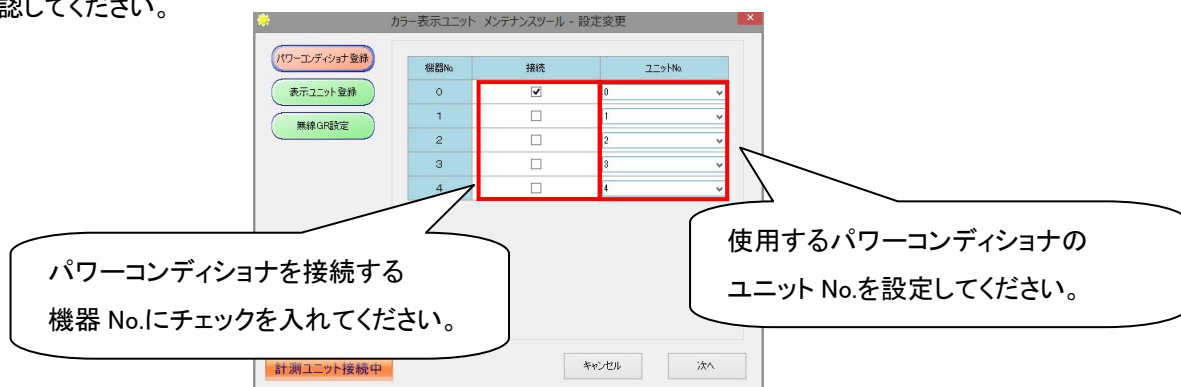
ここでは各設定項目について説明します。

目的に合わせ各種項目の設定を変更してください。

### ①パワーコンディショナ登録

使用するパワーコンディショナを登録します。最大で5台まで登録可能です。

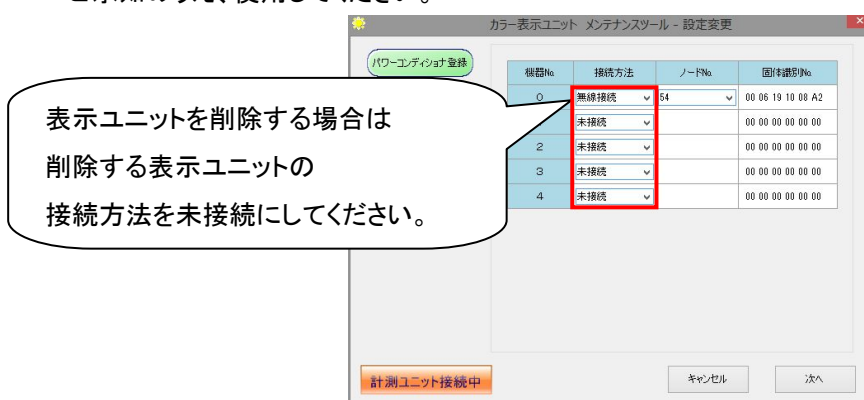
パワーコンディショナのユニット No.設定方法、配線方法はパワーコンディショナ複数台登録説明書を確認してください。



### ②表示ユニット登録

計測ユニットに保存されている表示ユニット登録情報を変更することができる機能です。

内部情報を変更することにより表示ユニットと計測ユニットの通信ができなくなることがありますのでご承知のうえ、使用してください。



### ③無線 GR 設定

計測ユニットに保存されている無線 GR を変更することができる機能です。

表示ユニットには変更が反映されませんので、無線 GR 変更を行ったあとに表示ユニットで通信設定を行ってください。



## ■変更した設定の保存方法

変更した設定を保存する方法を説明します。

[設定変更手順]

1. 各項目の説明に従い任意の設定を行ってください。
2. 『次へ』をクリックしてください。

3. 保存する内容を表示します。この内容で設定を変更する場合は『保存』をクリックしてください。  
内容を変更する場合は『戻る』をクリックして再度設定を変更してください。

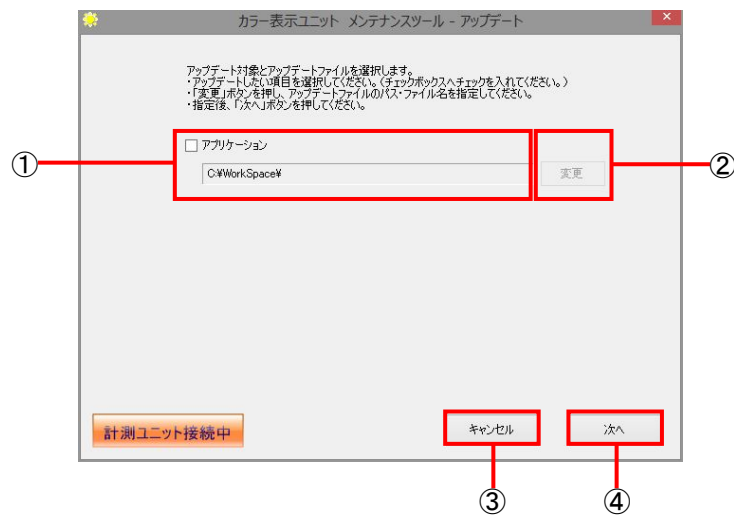
4. 設定を保存中です。しばらくお待ちください。

5. 設定変更を完了しました。『OK』をクリックしてください。

6. メンテナンスツールを終了させる場合は、メンテナンスツールを終了させてからケーブルを外してください。  
メンテナンスツールを終了させる方法は、「6. メンテナンスツールの終了」(63 ページ)を参照してください。続いて他の機能を行う場合は各項の操作に従ってください。

## 5.5. アップデート

アップデートファイルを使って計測ユニットをアップデートします。



### ① アップデート対象選択箇所

アップデート対象にチェックすると、アップデートファイルが選択可能になります。  
選択したファイルのパスが表示されます。

### ② 変更

アップデートファイルを選択します。

### ③ キャンセル

メニュー画面に戻ります。

### ④ 次へ

変更した設定値を保存します。

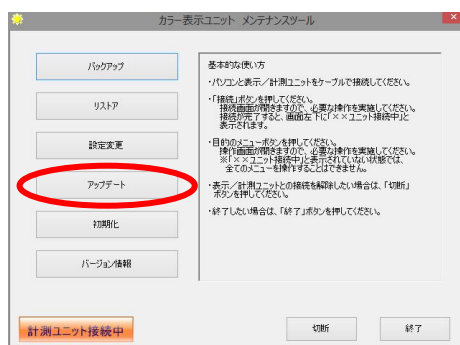
設定値変更前に設定変更確認画面を表示します。

## ■アップデート方法

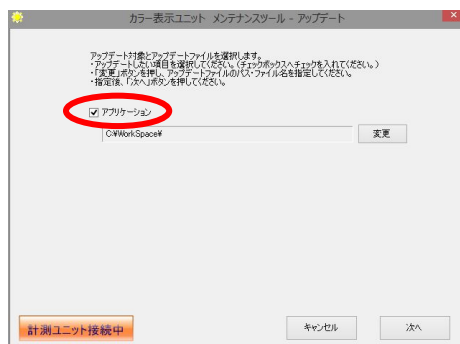
アップデート方法について説明します。

### [アップデート手順]

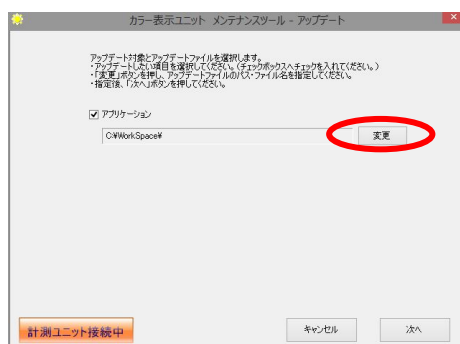
1. 『アップデート』をクリックしてください。



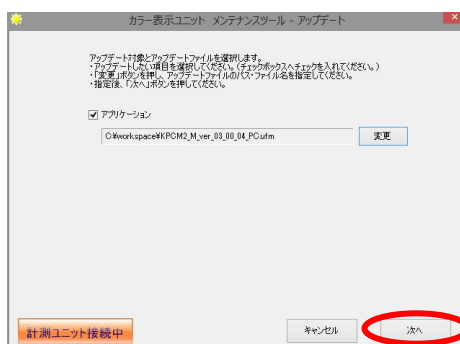
2. 『アプリケーション』にチェックをしてください。



3. 『変更』をクリックし、アップデートファイルを選択してください。

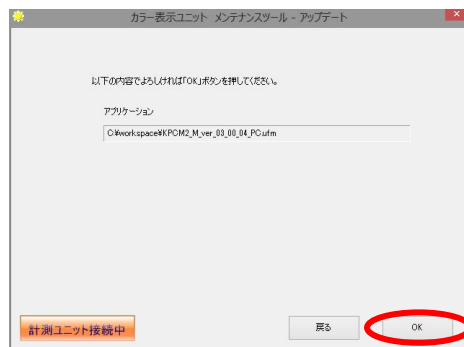


4. 選択したファイルパスが表示されたことを確認後、『次へ』をクリックしてください。





5. 内容に間違いが無ければ『OK』をクリックしてください。  
ファイルを変更する場合は『戻る』をクリックしてください。



6. データ送信中です。完了するまでしばらくお待ちください。  
※アップデートモード中は、アップデート以外の操作を行わないでください。  
アップデートに失敗した場合は、「アップデートに失敗した場合の対応」(58 ページ)を参照してください。



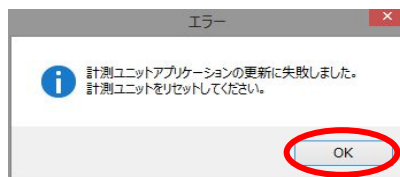
7. アップデートが完了しました。『OK』をクリックしてください。



8. メンテナンスツールを終了させる場合は、メンテナンスツールを終了させてからケーブルを外してください。  
メンテナンスツールを終了させる方法は、「6. メンテナンスツールの終了」(63 ページ)を参照してください。  
続いて他の機能を行う場合は各項の操作に従ってください。

## ■アップデートに失敗した場合の対応

1. アップデートに失敗した場合は次のエラーが表示されますので『OK』をクリックしてください。



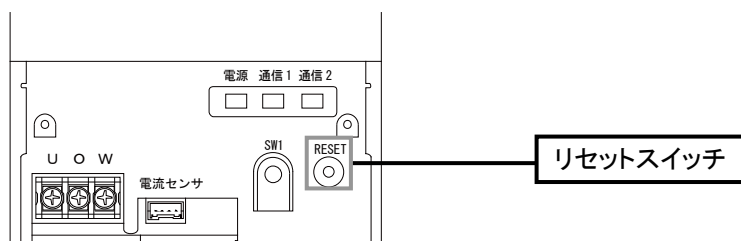
2. メンテナンスツールが切断されます。『OK』をクリックしてください。



3. 計測ユニットのリセットスイッチを細くて先の丸いもので押してください。

電源ランプ、通信ランプ1、通信ランプ2の消灯を確認後、リセットスイッチを離してください。

電源ランプが点灯または点滅したらリセット完了です。

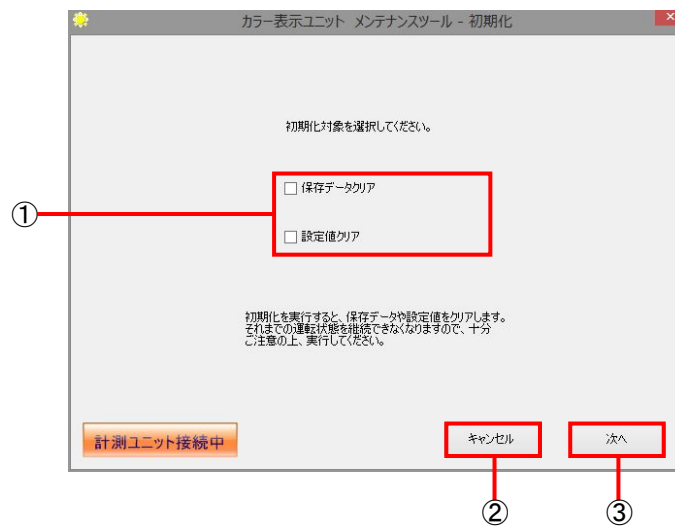


4. 計測ユニットとメンテナンスツールを再度接続するため「3.2. 計測ユニットと接続する場合」(18 ページ)を行ってください。
5. アップデートファイルを確認後、「アップデート手順」の「1. 『アップデート』をクリックしてください。」(56 ページ)から再度アップデートを行ってください。

## 5.6. 初期化

計測ユニットの初期化をします。

初期化は対象を選択し実行することができます。



### ①初期化対象

初期化を行う際に選択してください。

### ②キャンセル

メニュー画面に戻ります。

### ③次へ

選択した対象を初期化します。

## ■初期化方法

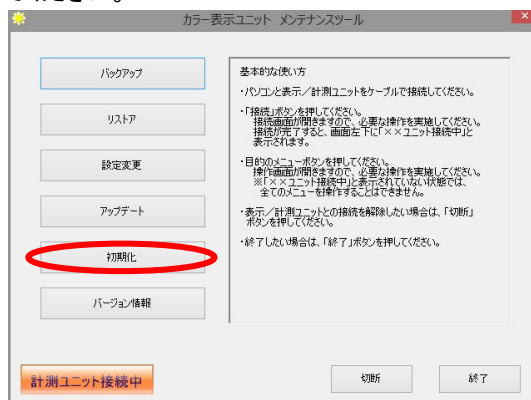
初期化方法について説明します。

ここでは保存データクリアと設定値クリアを実行する場合について説明します。

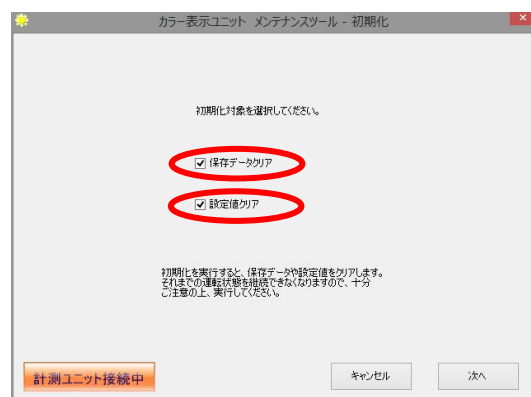
保存データクリアもしくは設定値クリアのみ実行する場合も同様に操作を行ってください。

### [初期化手順]

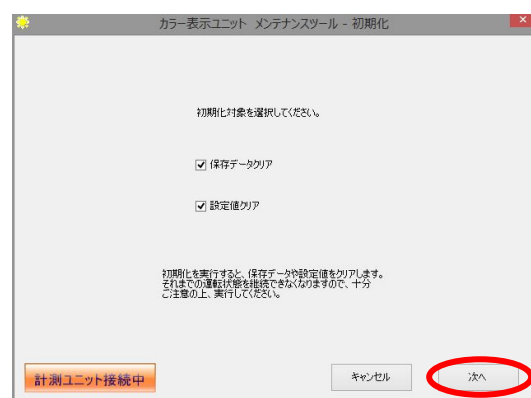
1. 『初期化』をクリックしてください。



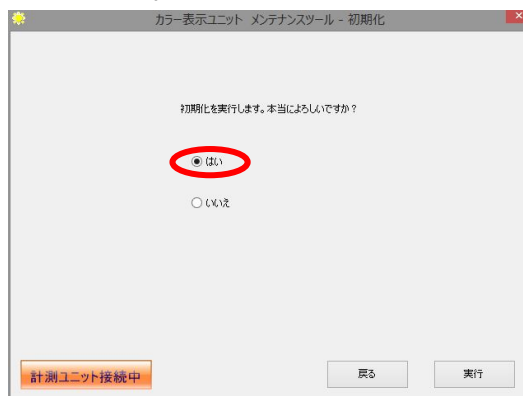
2. 『保存データクリア』、『設定値クリア』にチェックを入れてください。



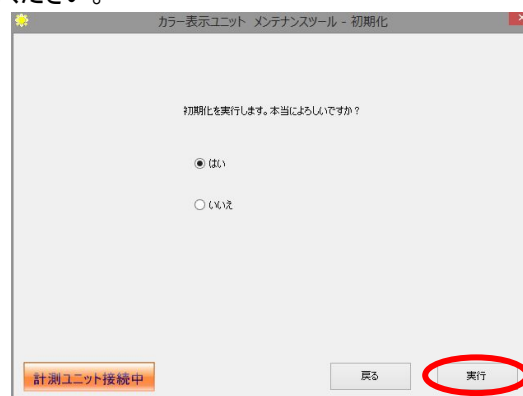
3. 『次へ』をクリックしてください。



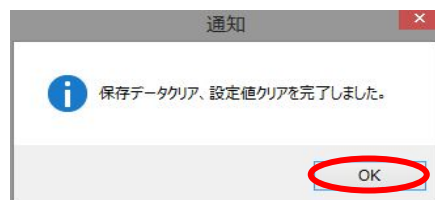
4. 『はい』にチェックを入れてください。



5. 『実行』をクリックしてください。



6. 全設定値クリアを完了しました。『OK』をクリックしてください。



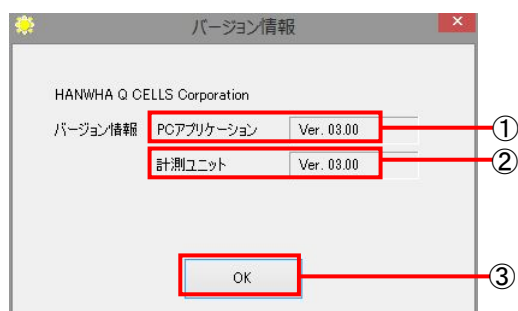
7. メンテナンスツールを終了させる場合は、メンテナンスツールを終了させてからケーブルを外してください。

メンテナンスツールを終了させる方法は、「6. メンテナンスツールの終了」(63 ページ)を参照してください。

続いて他の機能を行う場合は各項の操作に従ってください。

## 5.7. バージョン情報

計測ユニットとメンテナンスツールのソフトバージョンを表示します。



### ①PC アプリケーション

メンテナンスツールのソフトバージョンを表示します。

### ②計測ユニット

計測ユニットのソフトバージョンを表示します。

### ③OK

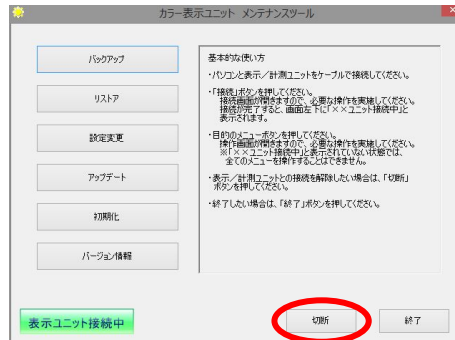
確認後『OK』をクリックしてメニュー画面に戻ってください。

## 6. メンテナンスツールの終了

メンテナンスツール終了する方法について説明します。メンテナンスツールを終了する際は、次の手順に従って操作を行ってください。終了手順は表示ユニット接続中の画面を使用しています。

### [メンテナンスツール終了手順]

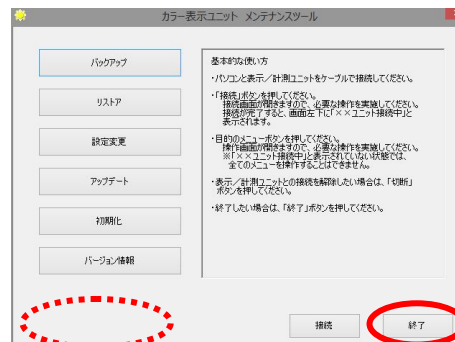
1. メンテナンスツールの『切断』をクリックしてください。



2. 次の画面が表示されたら、「OK」をクリックしてください。



3. “〇〇ユニット接続中”が消えたことを確認後、『終了』をクリックしてください。



4. 接続している、ケーブルをパソコンと表示ユニットまたは計測ユニットから外してください。

『切断』→『終了』をクリックする前にケーブルを外した場合、表示ユニットまたは計測ユニットが通常状態に戻らなくなります。

誤って先にケーブルを外してしまった場合は、表示ユニットまたは計測ユニットを再起動してください。

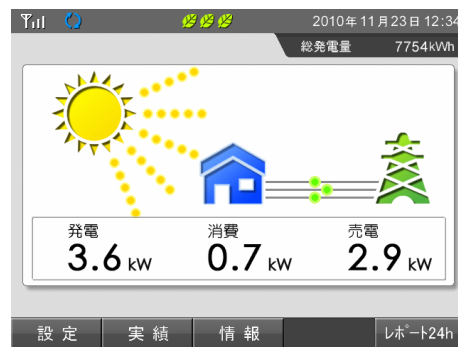
再起動後、再度目的の設定を行ってください。

#### ※再起動方法

- ・表示ユニットの場合：表示ユニットの AC アダプタを抜き差ししてください。
- ・計測ユニットの場合：太陽光発電用ブレーカを ON/OFF するか、計測ユニットのリセットスイッチを押してください。

5. 表示ユニットがメイン画面に戻ったことを確認してください。

計測ユニットの場合は、電源ランプが点灯していることを確認してください。



6. 計測ユニットのフロントカバーとネジを取り付けてください。

※取り付け方法については、施工・保守マニュアルの

「5.4.計測ユニットの設置(表示ユニット設置後)」(62 ページ)を参照してください。



## 7. アンインストール

メンテナンスツールを使用しなくなった場合などに、パソコンからメンテナンスツールおよび通信ドライバをアンインストール(削除)できます。

この章ではアンインストールする方法を説明します。

(画面は Windows 8.1 の画面を使用しています。)

### [メンテナンスツールのアンインストール手順]

#### [Windows Vista / Windows 7 の場合]

1. Windows のデスクトップ画面で、『スタート』→『コントロールパネル』→『プログラムのアンインストール』をクリックしてください。

#### [Windows 8 / Windows 8.1 の場合]

1. デスクトップから、画面の右下の角に、マウスポインターを移動。  
チャームが表示されますので、『設定』→『コントロールパネル』→『プログラムのアンインストール』の順でクリックします。



2. 『カラー表示ユニット メンテナンスツール』を選択し、右クリックして『アンインストール』を選択してください。



3. メンテナンスツールを削除します。『はい』をクリックしてください。

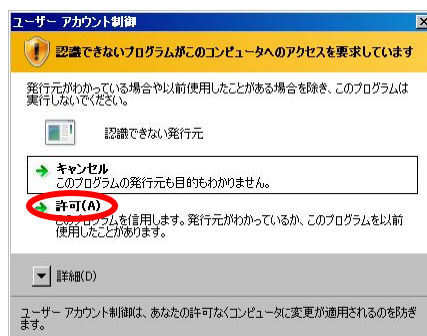


ユーザーアカウント制御の警告が表示される場合があります。

パソコンの OS ごとに次の対応を行ってください。

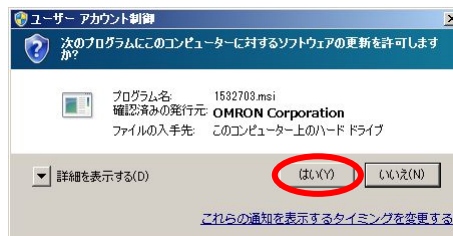
[Windows Vista の場合]

『許可』をクリックしてください。



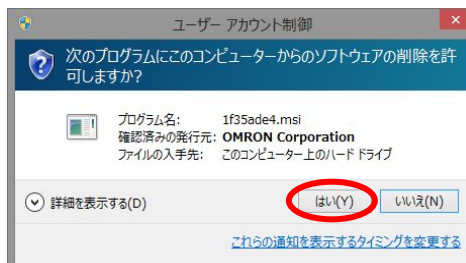
[Windows 7 の場合]

『はい』をクリックしてください。



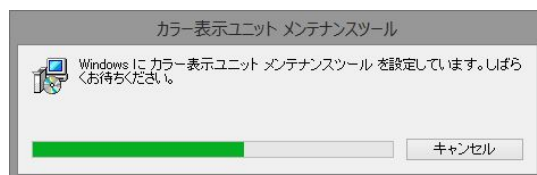
[Windows 8 / Windows 8.1 の場合]

『はい』をクリックしてください。



4. メンテナンスツールを削除しています。しばらくお待ちください。

アンインストールを中断する場合は、『キャンセル』をクリックしてください。



5. デスクトップ上のアイコン表示が消えたらアンインストール完了です。

### [通信ドライバのアンインストール手順]

表示ユニットから USB ケーブルが抜かれている状態で行ってください。

(画面は Windows 8.1 の画面を使用しています。)

### [Windows Vista / Windows 7 の場合]

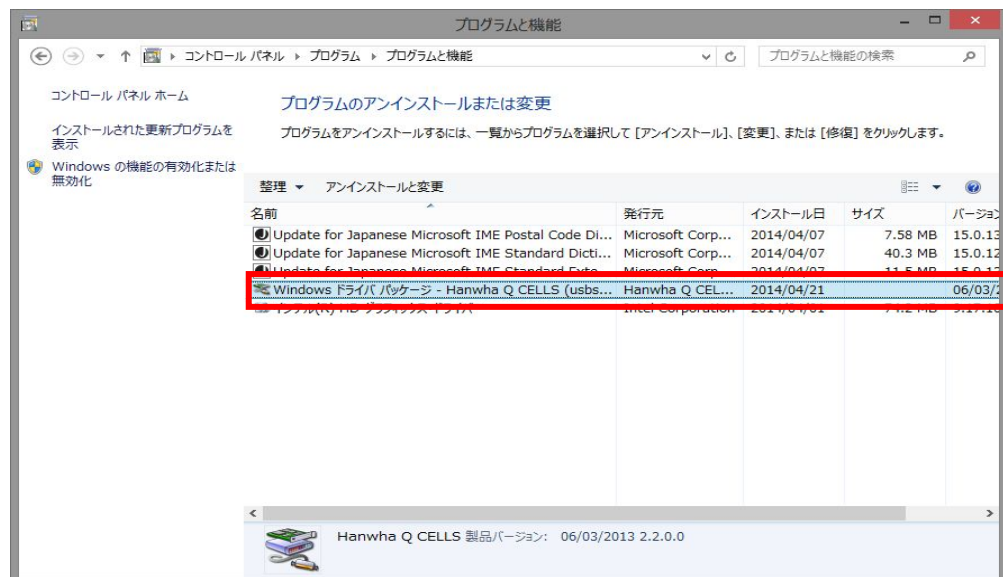
1. Windows のデスクトップ画面で、『スタート』→『コントロールパネル』→『プログラムのアンインストール』をクリックしてください。

### [Windows 8 / Windows 8.1 の場合]

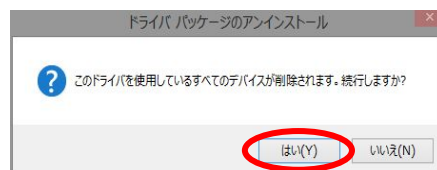
1. デスクトップから、画面の右下の角に、マウスポインターを移動。  
チャームが表示されますので、『設定』→『コントロールパネル』→『プログラムのアンインストール』の順でクリックします。



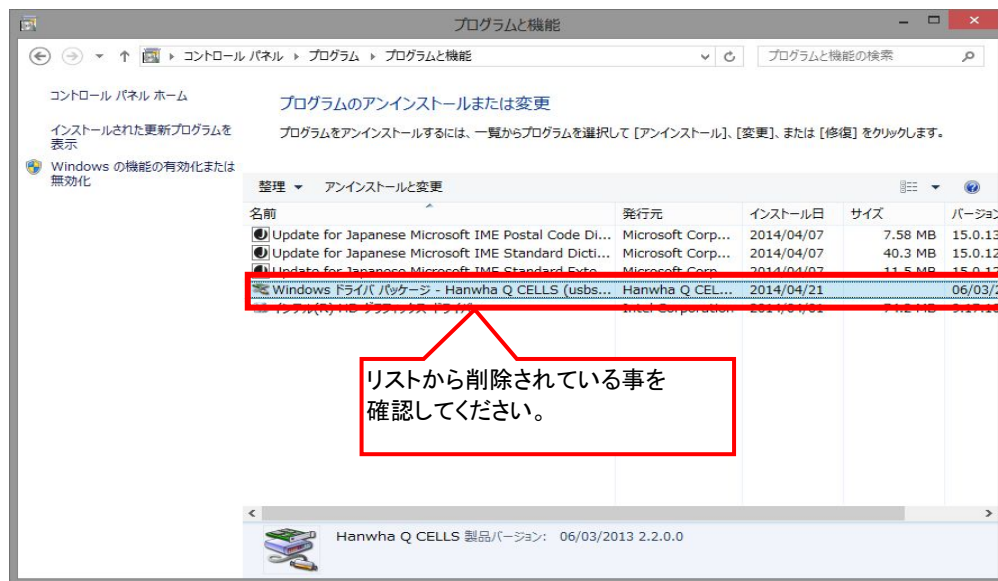
2. 『Windows ドライバ パッケージ - Hanwha Q CELLS (usbser) Ports』を選択し、右クリックして『アンインストール』を選択してください。



3. 通信ドライバを削除します。『はい』をクリックしてください。



4. 『Windows ドライバ パッケージ - Hanwha Q CELLS (usbser) Ports』が『現在インストールされているプログラム』一覧にリストアップされていないことを確認してください。



### One Point

- ・メンテナンスツールをアンインストールした際に、インストール先のフォルダやレジストリが残ることがあります。
- ・メンテナンスツールを使用する場合は、再度インストールをしてください。  
インストール方法は「2. セットアップ手順」(6 ページ)を参照してください。

## 8. トラブルシューティング

ここでは次のような現象が発生した場合について対処法を明記します。

現象	対処法
インストールができない。	使用するパソコンの動作環境が整っているか確認してください。 動作環境(3 ページ)
	管理者権限のあるユーザー名でログインしているか確認してください。
メンテナンスツールを使用中に通信が切断した。	表示ユニットもしくは計測ユニットとパソコンをつなぐケーブルが抜けていないか確認してください。 メンテナンスツールに“〇〇ユニット接続中”と表示されていない場合は、再度メンテナンスツールを接続してください。 3. メンテナンスツールの起動(13 ページ)
一度通信ドライバのセットアップを行っているが再度ドライバの要求が求められる。	セットアップを行った USB ポート以外の USB ポートに USB ケーブルを差し込むとドライバのインストールの要求が求められます。 セットアップを行った USB ポートに差し込みなおしてください。 別の USB ポートを使用する場合は次のドライバのインストール手順を参照してください。 Windows Vista の場合 : 14 ページ Windows 7 の場合 : 14 ページ
リストア中にバックアップしたデータを選択し『次へ』をクリックすると『表示ユニットと接続できませんでした。接続を確認してください。』というエラーメッセージが表示される。	設定値のファイルとデータのファイルを選択し間違えた場合にエラーメッセージが表示されますので、変更するファイルを再度確認後、ファイルを選択してください。
ツールを終了する前にケーブルを抜いてしまい表示ユニットが通常動作に戻らなくなった。	メンテナンスツールを終了する前にケーブルを外すと通常動作に戻らなくなりますので、先にメンテナンスツールを終了させてからケーブルを抜いてください。 誤って先にケーブルを外してしまった場合は表示ユニットの AC アダプタを抜き差しし、再度電源を投入すると復帰します。
ツールを終了する前にケーブルを抜いてしまい計測ユニットが通常動作に戻らなくなった。	メンテナンスツールを終了する前にケーブルを外すと通常動作に戻らなくなりますので、先にメンテナンスツールを終了させてからケーブルを抜いてください。 誤って先にケーブルを外してしまった場合は太陽光発電用ブレーカを ON/OFF するか、計測ユニットのリセットスイッチを押すと復帰します。